

1. 件名：「浜岡原子力発電所3号炉及び4号炉の地震等に係る新規規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング(152)、(185)」

2. 日時：令和5年10月25日(水) 16時10分～18時40分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、佐口上席安全審査官、谷主任安全審査官、鈴木安全審査専門職、井清係員、松末技術参与、道口主任技術研究調査官、山下技術研究調査官

中部電力株式会社：原子力本部 原子力土建部 原子力土建部長  
他8名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・浜岡原子力発電所 基準津波の策定のうち地震による津波について
- ・浜岡原子力発電所 基準津波の策定のうち地震による津波について（コメント回答）

時間	自動文字起こし結果
0:00:04	はい。規制庁地震津波審査部門の鈴木です。それでは浜原子力発電所で地震による津波、
0:00:12	ヒアリング、前回会合からのコメント回答ですね、その1回目のヒアリングを始めたいと思います。
0:00:19	資料としては、1年10月の11日にいただいていた少しご説明したい趣旨というかですねそこが明確になるようにということで本日付でコメント回答と、それも踏まえて、
0:00:33	地震による津波、全体本編ですかね、補足説明資料のエビデンスの方がこれは11月11日のものから変わらないということではいただいておりますので、
0:00:43	まずコメント回答を中心にご説明いただくということでお願いをいたします。じゃあ、中部電力の方から説明をお願いします
0:00:52	はい。中部電力の尾川です。
0:00:54	本日は地震による津波ということで、8月4日の第1178回の会合でいただきましたコメントの回答ということで、
0:01:04	海洋プレート内とプレート間との組み合わせに関するもの、それから海域の活断層に関するコメント回答についてご説明をさせていただきます。
0:01:14	説明時間およそ30分ほどを予定しております。それではよろしく申し上げます。
0:01:20	中部電力の永松です。
0:01:22	浜岡原子力発電所基準津波の策定のうち地震による津波についてコメント回答資料を説明いたします。
0:01:29	2ページは、本資料の説明内容、3ページが、地震による津波のに関するコメントの一覧表ですが、コメントの内容は後程説明いたします。
0:01:39	4ページは、本日の説明内容です。
0:01:43	第1178回の審査会合では、海洋プレート内地震の津波評価及び、海域の活断層による地殻内地震の津波評価について説明し、
0:01:53	以下の項目についてコメントをいただいております。
0:01:57	読み上げますが、ナンバー1プレート間地震と海洋プレート内地震の組み合わせに関する考え方。
0:02:03	ナンバー2。
0:02:04	アベの予測式に持ち、津波予測式に用いる地震モーメント、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:09	ナンバー3、海域の活断層による地殻内地震のパラメータスタディの範囲となっております。
0:02:15	本日は、コメント回答資料にて地震による津波の全体概要と海洋プレート内地震の津波評価及び海域の活断層による地殻内地震の津波評価に関するコメント回答を、
0:02:27	個別に説明いたします。
0:02:29	なお、プレート間地震の津波評価に関するコメント回答については、今後説明いたします。
0:02:36	ページをお願いします。
0:02:40	6 ページから 18 ページには、全体の概要資料をおつけしておりますが、こちらについては、大きな変更がございません。
0:02:48	ので 19 ページから、コメント回答について説明いたします。
0:03:01	19 ページからコメント回答で、20 ページが、コメント回答の概要となっております。
0:03:07	内容については、個別に後程説明いたします。
0:03:10	21 ページは、前回会合、審査会合からの変更概要です。
0:03:15	海域の活断層による地殻内地震の津波評価の該当概要について、
0:03:21	左が前回介護、右が今回のものになりまして、
0:03:25	変更箇所を赤字で示しております
0:03:28	今回、No.2 コメント回答に伴い、
0:03:31	検討対象として、17 断層を追加しました。
0:03:36	また、No. 3 コメント回答に伴い、5、18 断層と、17 断層の断層上端深さのパラメータスタディ範囲の深さ、0 キロメートルまで評価することに変更しました。
0:03:48	なお、海洋プレート内地震の津波評価について、No. 1 コメント回答に伴う変更はございます
0:03:55	22 ページは、このコメント回答に伴う津波評価結果の変更。
0:04:01	概要です。
0:04:02	先ほど申し上げました変更に伴い、赤字部分の評価結果が変わっております、
0:04:08	海域の活断層による地殻内地震については、敷地前面の最大上昇水位は、50、18 断層の地震の 6.2 メートルが最大となっております。
0:04:21	23 ページからは、No. 1 コメント回答について説明いたします。
0:04:27	24 ページは、コメント回答の概要です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:30	第 1178 回審査会合では、プレート間地震と海洋プレート内地震の組み合わせ要否について、審査ガイドに照らし、敷地の地学的背景、津波発生要因の関連性に関する、
0:04:42	企業知見と事実関係を十分に検討し、
0:04:46	プレート間地震と海洋プレート内地震を組み合わせる必要がないという論理構成を再整理することとのコメントがございました。
0:04:54	これに対するコメント回答の概要ですが、
0:04:57	プレート間地震と海洋プレート内地震の組み合わせ要否について、
0:05:02	敷地の地学的背景、
0:05:05	津波発生要因の関連性に関する企業知見と事実関係を、後程ご説明します。(1)と(2)の二つの観点から、
0:05:15	プレート間地震と海域の活断層による地殻内地震との組み合わせ要否とあわせて再整理いたしました。
0:05:22	その下には、検討概要を書き下してございます。内容について、次のページ以降でご説明いたします。
0:05:31	25 ページは、その検討概要です。
0:05:35	まず検討方針としては、プレート間地震とその他の地震である。
0:05:40	は坂の内陸地殻内地震、下盤の海洋プレート内地震との組み合わせについて、
0:05:45	これらの地震が因果関係をもって同時発生し、津波が重なり合う可能性がある事象として、
0:05:52	右上の模式図のような、(1)のプレート間地震の発生に伴う周辺地殻の応力変化により、
0:06:00	プレート境界から離れた別の大地震が発生する場合と、
0:06:03	右下の模式図の絵に示しますように、
0:06:07	(2)のプレート間地震の破壊が直接伝播することにより、一体性のある連動として発生する場合があります。
0:06:15	ここでは、組み合わせについて、この緑色の(1)とピンク色の(2)の観点から、南海トラフの地学的背景を整理し、南海トラフにおける津波評価上の関連性を検討します。
0:06:29	それぞれの詳細を、次のページ以降で説明して参ります。
0:06:34	26 ページから、(1)の内容についてご説明いたします。
0:06:39	26 ページは、(1)の検討概要です。
0:06:42	プレート間地震とその他の地震の組み合わせ要否について、(1)の応力変化による別の大地震の発生の観点から、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:51	表の地学的背景の中に示します、①プレート間地震後の別の大地震の発生状況の確認。
0:07:00	及び、
0:07:01	下の②、プレート間地震による別の断層活動への影響の確認を行い、これらの確認結果から、その右、関連性の中で、
0:07:11	(1)の応力変化の観点から、プレート間地震との組み合わせを考慮する必要はないと評価しております
0:07:18	次のページ以降でこれら①②の内容についてご説明いたします。
0:07:25	27 ページからは、①プレート間地震後の別の大地震の発生状況の確認についてです。
0:07:32	0 衛藤 2011 によると、巨大なプレート間地震が発生すると、それに伴う応力変化が周辺近くの断層に影響し、
0:07:41	まれではあるが、大規模なアウターライズ地震の発生に繋がることがあるとされており、
0:07:46	表と図に示しますように、
0:07:49	日本海溝と千島海溝において、
0:07:52	プレート間地震のそれぞれ 37 年後、2 ヶ月後に、当該地域における会議における最大規模のアウターライズ地震が発生した事例が示されています
0:08:05	ここでは、国内外のM9 クラスの地震及び
0:08:09	南海トラフの地震の発生後、
0:08:12	プレート間地震に伴う応力変化の影響も受けて発生する宇和盤下盤の地震のうち、
0:08:19	津波の組み合わせを検討する観点から、津波を発生させる可能性がある。
0:08:24	M7 以上の大地震について、プレート間地震後 10 年間の発生状況を確認します
0:08:32	28 ページには、
0:08:34	国内外のM9 クラスのプレート間地震について、図中に青の破線で示しています。波源域の周辺において、
0:08:43	プレート間地震後 10 年間で、プレート境界の宇和盤と下盤で発生した、白丸で示しておりますM7 以上の大地震を整理しております。
0:08:54	上盤と下盤のM7 以上の大地震はプレート間地震発生後、十年間でそれぞれ数個とまれであるとともに、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:03	プレート間地震の発生後、早いものでも1時間程度から10年程度の時間間隔をもって発生しております。
0:09:13	29ページには、南海トラフのプレート間地震の波源域周辺において、南海トラフのプレート間地震のそれぞれの地震後10年間に、
0:09:23	プレート境界の宇和盤と下盤で発生したM7以上の大地震を整理しており、
0:09:29	図と表に示すように、宇和盤と下盤のM7以上の地震は、
0:09:34	1854年の欄、安政東海地震でのみ発生しており、
0:09:40	本震から11ヶ月の時間間隔をもって発生しています
0:09:44	ここまでのことから、下の黄色の箱書きですが、
0:09:48	①の確認結果として、
0:09:50	国内外のM9クラスの地震及び南海トラフの地震の事例を確認した結果、
0:09:56	プレート間地震に伴う応力変化が影響して、津波を発生させるような、別の大規模な地震が発生する頻度はまれであるとともに、
0:10:05	これらの地震はプレート間地震の発生後、早いものでも1時間程度から10年程度の時間間隔をもって発生していることから、
0:10:14	津波が組み合わされる蓋然性は非常に低いことを確認しました。
0:10:19	30ページには、参考としまして、津波を起こすM7よりも一回り小さい、
0:10:26	南海トラフのM6以上の地震の整理をお示ししています
0:10:30	M6以上の地震の発生状況については、M7以上の、先ほどの地震のものとは大きな違いがございません。
0:10:39	続いて、31ページから②の、
0:10:43	プレート間地震による断層活動への影響の確認をご説明いたします。
0:10:48	城2019によると、沈み込み体のプレート境界で全域を破壊する巨大地震が発生した場合、
0:10:56	左の図に青の破線で囲った津波に影響の大きい海溝軸付近の宇和盤と下盤には、ともに伸張作用が働くとされ、
0:11:06	この伸張作用が働いた際、
0:11:09	同領域に正断層が分布する場合には、その活動が促進される方向となり、
0:11:15	2011年の東北沖地震後には、実際に正断層型の地震が観測されたとされています。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:23	ここでは、②プレート間地震による断層活動への影響の確認として、東北沖地震後に、宇和盤と下盤において発生したM7以上の地震の事例を確認の上、
0:11:35	南海トラフの宇和番下盤に分布する断層と、
0:11:39	プレート間地震に伴う右腕下盤プレートの伸張作用による南海トラフの断層活動への影響を確認します。
0:11:51	32 ページには、2011 年の東北沖地震以降に、
0:11:57	宇和盤と下盤で発生したM7以上の地震のメカニズム解を、それぞれ上側と下側に図表で示しております
0:12:06	東北沖では、2011 年東北沖地震以降、
0:12:10	宇和版及びした坂野浅井海溝軸付近では、M7以上の逆断層型の地震は発生せず、主に正断層型の地震が発生しています。
0:12:22	これは、
0:12:23	プレート間地震による陸オオキ方向の伸長作用により、正断層型のザ断層活動が促進される方向に働いた結果だと考えられます。
0:12:35	33 ページは、東北沖の宇和盤と下盤に分布する断層です。
0:12:41	東北オオキのは坂は、陸域では逆断層が多数分布するのに対して、
0:12:46	海底下の前弧域では、中央の下の模式図のような形で、造構性侵食作用によって正断層が発達していると、キムラ 2002 等において述べられており、
0:12:58	その上の図にあるように、海底の音波探査断面等からは、海底付近にまで達する正断層が複数確認されており
0:13:09	また、瀬野 1995 等によると、
0:13:13	下盤の OUTER ライズから海溝軸右側斜面にかけての領域では、
0:13:18	厚い太平洋プレートが比較的急角度で沈み込んでおり、
0:13:23	沈み込むプレートの方への曲げにより、右下のように、
0:13:27	海溝軸付近のプレート内部の浅い領域は、正断層型の地震が、
0:13:33	深い領域は逆断層型の地震が発生しています。
0:13:37	このうち、浅い領域の正断層型地震は、
0:13:41	その右上の図のように、地下構造探査で確認されている、海溝軸付近の正断層地形に対応しているとされており、
0:13:51	続いて、南海トラフについてですが、34 ページには、南海トラフの宇和番下盤の断層形成メカニズムを示しております。
0:14:00	付加作用が卓越する南海トラフにおいて、宇和盤は地殻が圧縮され、逆断層成分を持つ断層が広範囲にわたり認められるとされ、下盤は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:11	薄いフィリピンかいプレートが比較的低角度で沈み込むことで、
0:14:16	プレート内部の領域に圧縮応力が働き、逆断層型の地震が発生しているとされ、
0:14:22	また、トラフ軸の沖合では、
0:14:24	正断層が、地形は認められないとされております。
0:14:30	35 ページは、南海トラフの断層の調査結果です。
0:14:34	敷地周辺の活断層評価の結果、ページ左側の平面図と表に示すように、
0:14:41	敷地周辺の南海トラフの宇和版では、清断層は分布せず、逆、主に逆断層が分布していることを確認しております。
0:14:50	ページ右側の南海トラフの下盤では、海底地形及び地下構造探査の結果から、
0:14:57	正断層や正断層地形は認められず、
0:15:00	南海トラフの沖合には、
0:15:02	銭洲断層系等の逆断層が認められ、
0:15:05	トラフ軸付近の海洋プレート内では、
0:15:08	逆断層型の地震が発生しています。
0:15:12	ここまでの内容から、下の黄色の箱書きですが、
0:15:15	②について、
0:15:17	付加作用が卓越する南海トラフでは、
0:15:20	宇和盤と下盤とも、プレートの陸オオキ方向の圧縮による逆断層型の地震が分布しており、
0:15:27	沈み込み体の全域を破壊する巨大地震が発生した場合には、
0:15:31	津波に影響の大きい、海溝軸付近の宇和盤とした場には、陸オオキ方向の伸長作用が働き、これらの逆断層型の断層は、
0:15:41	プレート間地震に伴う応力変化により、小、活動が緩和される方向となることを確認いたしました。
0:15:49	36 ページは、ここまでの確認結果から、
0:15:52	(1)の応力変化の観点からの関連性の評価結果を示しております。
0:15:58	表の地学的背景の通り、①のプレート間地震後の別の大地震の発生状況の確認では、
0:16:06	津波を発生させるような別の大規模な内陸地殻内地震、もしくは海洋プレート内地震が発生する頻度はまれであり、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:14	これらはプレート間地震から、1 時間程度から 10 年程度の時間間隔をもって発生していることから、津波が組み合わさる蓋然性は非常に低いことを確認しました。
0:16:25	②のプレート間地震による別の断層活動への影響の確認では、
0:16:31	南海トラフには逆断層型の断層が分布し、これらの断層活動は、
0:16:36	プレート間地震により伸張作用が働くことで、
0:16:40	緩和する方向であると確認しました。
0:16:43	これらの確認結果から、右側の関連性の評価として、
0:16:47	(1)応力変化の観点から、
0:16:50	プレート間地震とその他の地震の津波評価上の関連性はなく、
0:16:55	(1)の観点から、プレート間地震との組み合わせを考慮する必要はないと評価いたしました。
0:17:02	続いて 37 ページからは、(2)のプレート間地震の破壊の直接伝播による一体性のある連動発生について説明いたします。
0:17:13	ここでは、宇和盤と下盤における、破壊の直接伝播による連動に関する地学的背景を確認し、
0:17:20	これをもとに、破壊の所、直接伝播による連動に関する津波評価上の関連性を評価いたしました。
0:17:27	次のページ以降に、これらの内容を整理しております
0:17:32	38 ページは、沈み込みの進展に伴い形成される断層変形構造についてです。
0:17:39	文は採る 2007 や小出 2019 等によると、付加作用が卓越する南海トラフでは、
0:17:46	左右の二つの図に示していますように、宇和盤の付加体は、沈み込みによる圧縮により変形し、
0:17:54	沈み込み体の構造発達に伴い、低角逆断層などの固有の変形構造が順次形成されていくのに対し、
0:18:02	下盤の海洋地殻は大きな変形をせずに沈み込んでいるとされています。
0:18:08	トレイト境界から枝分かれする分岐断層は、このような沈み込み体の構造発達に伴い、形成される付加体固有の構造であり、下盤では形成されず、
0:18:19	宇和盤でのみ形成されております。
0:18:23	次に、39 ページですが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:26	南海トラフでは、大深度の反射法地震探査、掘削調査、既往津波の再現モデルの検討等に基づき、
0:18:34	沈み込み体のコウと、構造発達に伴い、
0:18:37	ババの付加体中に形成された分岐断層に、
0:18:40	プレート間地震の破壊が直接伝播したことが推定されておりますが、
0:18:45	下盤の海洋地殻内に破壊が伝播したことが確認された知見事例はございません。
0:18:52	40 ページは、(2)の評価結果です。
0:18:57	表に示しますように、エーワンについては、プレート境界から枝分かれする分岐断層があり、
0:19:03	プレート間地震の破壊伝播が確認されており、
0:19:06	分岐断層については、破壊の直接伝播による連動に関する津波評価上の関連性はありと評価しました。
0:19:13	内陸地殻内地震の断層についても、分岐断層と同じババに位置していることを慎重に考慮し、関連性ありと評価しました。
0:19:23	下盤については、プレート境界から枝分かれする分岐断層のような構造はなく、
0:19:28	プレート間地震の破壊伝播が確認された知見事例もないことから、関連性なしと評価しました。
0:19:35	なお、
0:19:36	この評価は国内外の巨大地震に関する最新知見を踏まえて、南海トラフの最大クラスの津波を想定した。
0:19:44	大学 2012 が、
0:19:46	南海トラフのプレート間地震と海洋プレート内地震とは別地震とし、一体性のある連動については想定しないとしていることと整合的なものとなっております。
0:19:58	41 ページと 42 ページは、ここまでのまとめです。
0:20:03	43 ページには、海域の活断層に関する評価方針について、過去資料から再掲してございます。
0:20:10	No. 1 コメント回答に関しては、以上です。説明者をかわります。
0:20:18	中部電力の鈴木です。
0:20:20	44 ページからは、No.2 コメント回答について説明します。
0:20:25	45 ページには、海域の活断層による地殻内地震の津波評価の概要と、No.2 コメント回答等の関係をお示ししています。
0:20:35	46 ページは、コメント回答概要です

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:38	上の箱書きがコメント内容になりまして、読み上げますが、検討対象とする地震の選定について、敷地に大きな影響を及ぼす可能性のある地震を漏れなく選定する観点から、
0:20:49	アベによる津波予測式が簡易的なものであることに留意し、
0:20:53	断層が海域から陸域に連続して分布している、17断層等について、
0:20:58	海域部分の地震モーメントだけでなく、
0:21:01	陸域部分も含めた全体の地震モーメントから大きめに地震規模を算定し、
0:21:06	津波予測式による評価に用いることというコメントをいただきました。
0:21:11	その下の箱がコメント回答の概要ですが、
0:21:14	アベによる津波予測式に用いる地震の規模、地震モーメントについて、当該予測式は、
0:21:20	海域の地震の規模、距離と津波高さとの関係を整理したのですが、
0:21:25	敷地に大きな影響を及ぼす津波波源を網羅的に抽出する観点から、
0:21:30	海域から陸域に連続して分布している断層について、
0:21:34	海域部の地震モーメントだけでなく、
0:21:40	陸域も含めた全体の地震モーメントを用いて、津波予測式による評価を行うこととしました。
0:21:47	その結果、下の赤字で示す通り、敷地に近い、17断層も検討対象として追加することとしました。
0:21:55	47ページには、検討対象とする地殻内地震の選定の検討方針をお示ししています
0:22:03	地殻内地震として考慮する活断層による地震について、アベによる津波予測式を用いて、津波高を評価し、
0:22:10	敷地への影響が相対的に大きい地震を検討対象として選定します。
0:22:16	左の断層の平面図に示す通り、
0:22:19	これまでは、海域から陸域に連続して分布している断層について、
0:22:23	地震全体の地震モーメントではなく、
0:22:26	津波発生に寄与する海域部のチームモーメントを用いて、
0:22:30	津波予測式による評価を行っており、
0:22:32	神モーメントを海域部の断層長さ $L'$ と全体の断層長さ $L$ との比で案分した値としていましたが、
0:22:40	今回は、右の図に示す通り、海域部の地震モーメントだけでなく、陸域部も含めた全体のチームモーメントを用いて、
0:22:48	津波予測式による評価を行うこととしました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:52	48 ページに検討結果をお示ししています。
0:22:56	右の表に示す通り、評価方針の変更に伴い、海域から陸域に連続して分布している、518 断層と、17 断層については、
0:23:06	アベの予測式による津波高が変更となり、敷地への影響が相対的に大きい活断層として、
0:23:14	これまで検討対象としていました御前崎海脚西部の断層体英語エイジア
0:23:19	て 18 断層、遠州断層系に加え、17 断層も検討対象として、
0:23:25	追加することに変更しました。
0:23:29	49 ページからはNo. 3 コメント回答について説明します。
0:23:35	50 ページには、海域の活断層による地殻内地震の津波評価の概要と、No. 3 コメント回答との関係をお示ししています。
0:23:45	51 ページはコメント回答概要です。
0:23:50	上の箱書きがコメント内容になりまして、読み上げますが、地質調査によって断層フィンガ確認できない、518 断層の傾斜角のパラメータスタディ範囲は、
0:24:01	南海トラフの敷地周辺における逆断層タイプの断層の傾斜角に関わる既往知見を整理した上で、
0:24:08	津波評価上、十分な保守性を有する根拠を説明すること。
0:24:13	また、断層上端深さのパラメータスタディ範囲は、津波評価上 0 キロまで考慮することというコメントをいただきました。
0:24:21	その下の箱がコメント回答の概要ですが、
0:24:24	一つ目の、5、18 断層等の傾斜角の設定の妥当性確認について。
0:24:30	地質調査によって、断層面が確認できない活断層英語、18 断層、17 断層の傾斜角を、近傍の御前崎海脚西部の断層体と同じ設定としたことについて、
0:24:43	①敷地周辺の海域の活断層の傾斜角に関する知見、
0:24:47	②断層面が確認できない活断層の傾斜角の想定方法に関する知見について検討し、
0:24:54	傾斜角のパラメータスタディは、の範囲の設定が妥当であることを確認しました。
0:25:01	二つ目の、5、18 断層の断層上端深さの設定について。
0:25:05	地質調査によって地表付近に断層変位が認められない。後、18 断層、17 断層についても、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:13	津波評価上、土木学会 2016 に基づき、0 キロを考慮することとしました。
0:25:19	下に、左に、前回会合での説明、右に、今回説明を示していますが、コメント回答に伴い、今回、基本モデルの
0:25:28	断層パラメータを変更しており、
0:25:31	前回までは左に示す通り、御前崎海脚西部の断層体と遠州断層系の断層上端深さは 0 キロ。
0:25:38	518 断層は 2 キロとしていましたが、
0:25:41	今回、右に示す通り、518 断層とナンバー2 間コメント回答に伴い、検討対象とした、17 断層についても、
0:25:50	主エザキ海脚西部の断層体遠州断層系と同じように、
0:25:54	断層上端深さは津波評価上土木学会 2016 に基づき、0 キロとしました。
0:26:01	また、その下のパラメータスタディでは、コメント回答に伴い、傾斜角の妥当性確認を追加するとともに、
0:26:08	断層上端深さのパラメータスタディは、0、2.5、5 キロのパラメータスタディに統一しました。
0:26:15	52 ページには、5、18 断層の地震の波源モデルと断層パラメータをお示しして今
0:26:22	53 ページには、このA5A18 断層の断層パラメータの前回、今回との比較をお示ししています
0:26:31	表の左側が前回の設定ですが、
0:26:33	前は断層上端深さを 2 キロとしていましたが、今回、右側に示す通り、津波評価上、土木学会 2016 に基づき、0 キロと設定しました。
0:26:43	それに伴い、断層幅、断層面積及び滑り量も変更となりました。
0:26:49	54 ページは、17 断層の地震の波源モデルと断層パラメータになりまして、こちらも断層上段深さは 0 キロとしています。
0:26:58	55 ページからは、断層パラメータに関するパラメータスタディの検討方針と設定方法についてお示ししています
0:27:08	設定した海域の活断層による地殻内地震の波源モデルについて、土木学会 2016 に基づき、
0:27:15	津波評価に影響を与える使用な因子として、表に示す傾斜角、滑り角、断層上端深さの不確かさを考慮し、
0:27:23	これらの組み合わせのパラメータスタディを実施し、
0:27:26	断層モデルごとに敷地への影響が最も大きいケースを選定しました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:30	今回のコメント回答に伴って追加変更した箇所を赤字で示しており、
0:27:35	まず傾斜角については、検討方針のところの2ポツ目に示す通り、
0:27:40	断層面が確認できない、518断層及び、17断層については、それらの近傍に位置し、同じ逆断層タイプであり、かつ断層走向も同様である。
0:27:51	御前崎海脚西部の断層体と同じ傾斜角の範囲で設定します。
0:27:57	また、その設定の妥当性確認として、以下の①敷地周辺の海域の活断層の傾斜角に関する知見と、②断層面が確認できない活断層の傾斜角の想定方法に関する知見について検討を行いました。
0:28:12	次に、その下の断層上端深さについては、繰り返しになりますが、2ポツのところで、5、18断層及び、17断層についても、
0:28:21	津波評価上、土木学会2016に基づき、0から5キロの範囲で設定することとしました。
0:28:27	56ページからは、518断層と17断層の傾斜角の設定範囲の妥当性確認について説明します。
0:28:37	57ページからは、
0:28:39	①敷地周辺の海域の活断層の傾斜角に関する知見として、
0:28:43	活断層評価の結果をお示して今
0:28:47	敷地周辺の活断層評価では、他機関による調査も含めた文献調査、変動地形調査、
0:28:53	地表地質調査、音波探査記録の分析等に基づき、
0:28:57	比木周辺の活断層の断層面を確認して今
0:29:01	敷地周辺の活断層、
0:29:04	評価の結果に基づき、
0:29:05	周辺の海域の逆断層タイプの断層について、表に、その傾斜角に関する知見を整理。
0:29:12	した結果をお示しております。
0:29:14	表に示す通り、背認定している敷地周辺海域の活断層①から⑰について、まず断層タイプ、
0:29:22	その次に、その右の確認できる断層変異があるかどうかでスクリーニングしていますが、
0:29:27	⑨から⑬のような褶曲構造だけから断層を認定しているものもあり、
0:29:32	傾斜角が確認できる断層の数は少なく、
0:29:36	地質断面図から断層傾斜まで確認できるものは、黄色でハッチングしている②、③、④、⑥の四つです

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:44	これら逆断層タイプの断層の傾斜角は、浅部で概ね 60 から 70° 程度、深部で 35 から 45 度程度となっております、
0:29:53	以上より、敷地周辺の海域の逆断層タイプの
0:29:57	断層の傾斜角は、518 断層と、17 断層の傾斜角のパラメータスタディの範囲内であることを確認しました。
0:30:05	58 ページから 60 ページには、傾斜角が確認できる活断層の調査結果をお示ししています。61 ページをお願いします。
0:30:19	61 ページから、②断層面が確認できない活断層の傾斜角の想定方法に関する知見について整理します。
0:30:27	左側の図には、地震調査委員会 2017 等の知見の確認結果をお示ししています、
0:30:34	地震調査委員会 2017 は、対象の断層についての詳細な調査結果が存在せず、周辺にどうタイプの断層が存在しない場合は、
0:30:44	その断層モデルの設定に際し、逆断層の傾斜角を 45° と設定することとして今
0:30:50	また、海洋研究開発機構 2019 は、右の図に示す通り、2 年、日本周辺の海域の活断層の分布を整理して、一元的に断層モデルの設定を行っており、
0:31:02	その断層モデルの設定に際して、逆断層の傾斜角を 45° と設定しています。
0:31:08	これらの知見を踏まえ、下の箱書きの 2 ポツ目ですが、
0:31:11	地震調査委員会 2017 等に基づき
0:31:14	逆断層である 518 断層及び 17 断層の傾斜角を、
0:31:19	全部深部ともに 45 とした場合の津波評価を行い、御前崎海脚西部の断層体の
0:31:26	設定を参照したパラメータスタディと比較することにより、
0:31:29	傾斜角のパラメータスタディの妥当性を確認することとしました。
0:31:36	62 ページには、5、18 断層の断面図をお示ししており、
0:31:41	黒の実線と破線が御前崎海脚西部の断層体の設定を参照したパラメータスタディ。
0:31:47	赤線が地震調査委員会 2017 等に基づく設定傾斜角 45 度を示しています。
0:31:53	箱書きの 3 ポツ目ですが、両者を同じ条件で比較するため、
0:31:57	傾斜角以外のパラメータスタディ項目は同一条件とし、
0:32:01	滑り角 90°、断層上端深さ 0 キロとしました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:05	ここで比較対象とする御前崎海脚西部の断層体の設定を参照したパラメータスタディ結果は、
0:32:12	基準とする傾斜角 $\pm 10^\circ$ の範囲内の3ケースの中で、水位上昇側及び水位下降側への、
0:32:19	津波影響が最も大きいケースとします
0:32:22	63ページには、5、18断層と、17断層の傾斜角を $45^\circ$ とした場合の断層パラメータをお示ししています。
0:32:34	表に太字で示している数値は、傾斜角を $45^\circ$ としたことに伴い、変更したパラメータ。
0:32:40	64ページは、影響確認結果です。
0:32:43	518断層と17断層について、
0:32:47	御前崎海脚西部の断層体の設定を参照した傾斜角のパラメータスタディと、
0:32:52	地震調査委員会2017等に基づく設定とで、津波評価結果を比較した結果、
0:32:58	最大上昇水位、最大下降水位ともに、御前崎海脚西部の断層体の設定を参照した傾斜角のパラメータスタディの方が、
0:33:07	敷地への津波影響が大きい結果となることを確認しました。
0:33:11	以上の①、②の確認により、518断層と、17断層の傾斜角のパラメータスタディの範囲の設定が妥当であることを確認しました。
0:33:22	65ページからは、5、18断層と、17断層の断層上端深さの設定について説明します
0:33:31	66ページには、5、18断層の地質調査結果をお示しており、調査結果からは、深さ約2キロの調査範囲においては、褶曲構造のみ確認され、
0:33:41	地下深部に連続する断層変異は認められませんが、津波評価上、土木学会2016に基づく深さ0から5キロの範囲で設定することとしました。
0:33:52	67ページは、17断層のものを同様に掲載しています。
0:33:58	68ページは、コメント回答に伴う変更を反映した海域の活断層による地殻内地震の津波評価結果になりまして、変更箇所を赤字で示している。
0:34:10	69ページから72ページには、5、18断層と、17断層のパラメータスタディ結果をお示ししています。
0:34:21	74ページに、地震による津波の評価結果の一覧を示しており、赤字の部分が今回のコメント回答に伴う追加変更箇所となっています。
0:34:32	コメント回答資料の説明は以上になります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:35	また、本編資料にはコメント回答に伴う変更を反映しています。資料の説明は以上です
0:34:45	はい。ご説明ありがとうございました。そうすると本編或いは補足説明のところは基本コメント会と、
0:34:54	と重複するのでということによろしいですかねはい。
0:34:58	ではですねちょっとコメント回答、項目としては毛色が二つあっていわゆる組み合わせの考え方と或いは海域活断層の評価の、
0:35:08	評価っていうところで、
0:35:11	ちょっと前者のところですねかなりいろいろなデータというか知見というところは収集いただいているとは思ってまして、ただこちらから始めるとなかなか確認が、
0:35:23	何というか案もあるかと思しますので、
0:35:26	どうでしょうかね先新居、いわゆるコメントナンバー2と3。
0:35:31	の方、伺えればとすみません、私としては思っております。
0:35:38	で、
0:35:39	そうすると資料としては、
0:35:44	ちょっと待ってくださいね何ページ。
0:35:49	すみません、どこ行ったかな。
0:35:52	甲斐勝断層で、コメント回答でいうとすみません44ページからですかね。はい。
0:36:00	一つは、
0:36:04	いわゆるアベの予測式でのスクリーニングのところで、多分ここは会合でのやりとり踏まえてとりあえずこれはもう陸域も含めてということで、
0:36:15	47ページですかね、前回、今回ということで、当然ながら陸域も含めて簡易予測をすると陸域の分だけ、要するに過剰に、
0:36:27	評価はされるんですけども、ここは網羅性の観点からということで、ここはコメント通りにやられてるのかなと思います。
0:36:36	ちょっと確認なんですけど48ページですかね。
0:36:42	趣旨これ、
0:36:45	赤文字が字が赤くなってるのがコメント回答に伴って変更。
0:36:51	で括弧書きが下段括弧書きが海域部のみで算出した数字ということで、
0:37:01	これ、17断層の何か断層幅とか滑り量とか、
0:37:07	津波の伝播距離ですかね、これコメント回答に伴って変わってます。
0:37:13	なので海域、陸域部も含めて評価したんで変更になってますと言いつつ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:20	下、下段括弧書きは海域部のみで算出した数字ってのがないっていうことで、
0:37:25	何か変わってるけど、
0:37:27	数字が変わってないってちょっとこの上がですね、なんで、
0:37:32	赤い文字が書いてあったら、その下に何か括弧書きがすべて書かれて、
0:37:37	変更があったのであれば、変更前のものが書かれているのかなと思ってたんですけどちょっとこの赤文字にしたり、括弧書きをつけたりっていうところの意味合いだけちょっと正確なところを教えてもらっていいですか。はい。中部電力加藤でございます。こちら、
0:37:52	主事としてコメント回答に伴って変わったところだけを赤字にするつもりだったんですけども、ちょっとすべて今赤字になってしまっておりますので、ちょっと次回修正時に、実際に前回、
0:38:03	から変わったところだけをちょっと赤字にするように修正させていただきたいと思います。
0:38:07	よろしくお願いします。
0:38:09	なるほど。
0:38:10	すいません。そうすると、
0:38:13	例えばこの 17 の断層幅とか滑り量とか、伝播距離というのはこれが黒字。
0:38:20	河成なし英語 18 と同じなのかな。黒字化線なしってというのが、
0:38:25	表現としてはより、
0:38:26	わかりやすいが誤解がないちゅうことでいいですかね。
0:38:31	はい。中部の加藤です。はい、おっしゃる通りでございます。
0:38:37	中部電力の盛です。17 を選んだというところでちょっと赤字にしたんでちょっと数字のところの赤字とその意味合いの赤字がちょっとかぶってしまっていて、なるほど、なるほどさせていただきたいと思います。
0:38:49	わかりました。
0:38:52	はい。
0:38:53	一応関与予測上は、
0:38:56	17 が選ばれる形にはなって、後 18 の本はここも陸域を含めるんで、当然ながらこの簡易予測の中では、一番大きくなると。
0:39:07	はい、わかりました。
0:39:11	特に、このアベの予測式のところは、何か、
0:39:15	ある方おられます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:18	ここはもうとにかく、スクリーニングの途中の話なので、はい。
0:39:26	はい。
0:39:27	その上で残りが二つ、
0:39:32	あれかな。
0:39:36	518
0:39:39	の傾斜角の話と、あとは、
0:39:42	上端深さ 0 キロのケースの話で、
0:39:48	移動しますかねえ。
0:39:50	どちらからいけばいいんだ。
0:39:57	常上だと。
0:40:01	ちょっと、
0:40:18	すいません。
0:40:19	失礼。それと 55 ページですかね。これパラスターの、
0:40:27	一応これ、
0:40:28	前回の会合で隣、一番近いところにあった前田海脚のパラメーター使いましたっていうことでもう少し範囲を広げてね。
0:40:37	この辺り一帯でいわゆる同じような逆断層系で
0:40:41	傾斜角の知見としてはどうなんですかということで、そういう趣旨ではして指摘とかコメントはしてまして、
0:40:49	一方で、社としてそれのみならずとかそれに加えて、あとは一般的に断層面が確認できない場合はどうしてるんだと。
0:40:59	いうところも調べた上で、
0:41:05	なのでもし、仮についていうか結果そうになってないんですけど、もともとのもので十分保守的だったという話なんですけど、
0:41:12	一般的に断層面が確認できない場合のやり方をやってみたとしても、それよりも、きっちりと、この地域の周辺にある断層の傾斜角踏まえて、
0:41:22	パラメータ設定したエグイやつの評価。
0:41:25	これは妥当だったんだという、その 2 本立てですかね。
0:41:29	それやられているのかと思います。はい。
0:41:33	そうすると、57 ページでこれ一、
0:41:38	今のところ、
0:41:40	当然わかる範囲のものを把握できる範囲というか明確にわかるものっていうことで、
0:41:46	もともと御前崎海脚が 65 で深いところだと 35 か 45 ぐらいで、
0:41:54	違うか、69、お前が 60 で、深いところで 30、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:59	周りの
0:42:01	御前崎海脚東部とか、
0:42:05	そうですね。
0:42:06	御前崎海脚どっちだったかな清西部と東部がすいませんどっちが津波でどっちが地震だったか、ぱっと忘れましたが、医師、医師はナカイ。
0:42:15	甲斐本ですかね。
0:42:17	この辺りのところを見て大体瀬、
0:42:21	背が違う。
0:42:22	瀬野実はいすみません全然これなんか会合で言ったら怒られるな。
0:42:26	瀬野、瀬野海。
0:42:29	せのみせのみ。
0:42:32	今日の午前中の委員会とかも、なかなかちょっとこの辺の読み方が間違えると恥ずかしいせのみですね、失礼。
0:42:40	妹尾近江。はい。
0:42:42	ただこのあたり見るとやっぱりある程度傾斜角ですかね浅いところ深いところ、当然、プレート境界の
0:42:51	ところにある程度並行する形になるので、
0:42:54	一緒ということでこの範囲内。
0:42:56	実際見ても振ってる範囲内としては、おかしくなろうということで、
0:43:06	一応、そうですね。
0:43:08	同じような場所なのでということで、はい。ここは説明、理解しました。
0:43:14	あと、61 ページがもう 1 個のことということでこれはもう言わずもがなの地震調査委員会の
0:43:22	断層モデルの設定。
0:43:24	逆断層 45 年、これは海洋研究開発機構 2019 っていうのはこれも、
0:43:32	たまたま防アノサイドでもありましたけどこれだからJAMSTECのなんか海域、
0:43:39	何か何とか所情報統合プロジェクトでしたっけ、多分文科省の方で、
0:43:44	やっていたプロジェクトで整備した海域活断層情報のサイトなんですかね。
0:43:52	はい。
0:43:53	これは、
0:43:56	そうかコメント回答の方だと何か文献名とかっていう形は出てこないんですけど、本編の方だと何か具体的に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:04	海洋研究開発機構 2019 って書いてますけど、
0:44:08	本編の方の何か参考文献とかあの辺ところに、
0:44:11	正式名称でできてるんですけど、109 ページかな。
0:44:16	109 ページの上から 123567890。
0:44:22	殊、
0:44:24	11 コガ国土地理院の下か。
0:44:26	あそこ会議断層情報サイト。
0:44:30	海域断層分布図、
0:44:32	多分プロジェクトで整備して作ったサイトっていう、
0:44:36	とって、これよろしいですかね。
0:44:42	はい。中部電力の盛です。はい。おっしゃる通りです。
0:44:46	文科省も海域か、JAMSTEC のプロジェクト自体、19 年で閉じてますので 2019 というふうに記載させていただいてまして、実際に、
0:44:54	最近、2023 年の 9 月から一般には公開されてる、この海域断層情報サイトのものを持ってきております。
0:45:06	はい、ありがとうございます。
0:45:07	土木学会とかだと割といわゆる海域活断層抽出液というか太平洋側ってあんまりやり方変えてなくて日本海側で、
0:45:18	しか、
0:45:19	場所によりけりで少し横ずれだったり逆断層だったりとかって、少し設定の仕方なんかは、
0:45:25	あったら思っていてあんまり太平洋側の方のことは書いてなかったんですけど、一応これ JAMSTEC のこの情報サイトっていうのはあんまり、
0:45:32	場所というか、特に基本的な設定の考え方では振り幅の話ではないんですけど、
0:45:39	これは一応あんまり場所というかその太平洋側だとか東北沖だとか日本海側だとか、
0:45:45	あんまり関係なく、基本的には当たり前ですけど逆断層 45 っていう形で、
0:45:51	予定されてるっちゃうことですかね。
0:45:55	はい。中部電力の森さん。61 ページの
0:45:59	真ん中の図の下に、破線で囲ったところは、
0:46:04	JAMSTEC のこの情報サイトのホームページから直接持ってきたもので、このように記載がされていると。で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:11	今、赤線で書いてある海域の活断層の分布図はこのようになってまして、実際にモデルをハッタ時ということは、時には、右側にあるような矩形でモデル化していて、
0:46:23	逆断層はすべて 45 度で設定されているということを確認しており、
0:46:29	あ、わかりました。なんでこう浜岡とかも含むような静岡県とかですね、この辺り含めたところのモデルも、逆断層系の
0:46:38	ものが 45 度と、
0:46:43	断層が確認できない場合、
0:46:45	やられてるってということですかね。はい。
0:46:48	わかりました。
0:46:50	うん。その上でさらにということで、実際にそういう場合で、実際もうね、このあたりの周辺の断層の傾斜角は押さえているので、
0:47:02	もともとは 60 基本でプラマイ 10° っていう、
0:47:06	ところが妥当であろうとしつつ一応パラメータを同じように、この 45° で振ってみましたと。
0:47:14	というのが 61 ページですかね。
0:47:18	もうほぼ変わらないが、むしろ小さく、基本的には、
0:47:25	すべて上昇下降とも、
0:47:28	御前崎海脚西部の断層体の設定参照にした方が保守的であると。
0:47:35	国、
0:47:37	数字がほぼ重なってるというのもないですね。
0:47:42	一応、17 の方の下降側が
0:47:46	見かけ上聴取、小数点 1 桁だと一緒なんですけど蓋開けたままで示していただいているので、
0:47:52	はい。これはこれで、
0:47:56	何か比較が難しいとかっていうことはなさそう。
0:48:01	ね。
0:48:02	特にこのなんか傾斜角のところ、
0:48:05	ある。
0:48:06	おられますか。
0:48:13	はい規制庁佐口です。61 ページですね。
0:48:17	ごめんなさいね、地震調査委員会 2017 年ってまず古くないですかっていうのが 1 点と、
0:48:26	別に最新でも一緒なんです。
0:48:28	例えば、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:31	それより前に出たものが当然あるわけで、
0:48:34	それと、2017 で大きく変わったので、2017 を採用されているのか。
0:48:40	ちょっとそこは、まず教え
0:48:42	てください。
0:48:47	はい。中部電力のモリですか。
0:48:50	そうですね 2017 年度からのもので地震動もこれまでここ、こちらの盤上で引用してましたのでそちらをちょっとさしていただきました。最新が変わっていないということと、最終版があることについても承知はしております。
0:49:05	はい。規制庁佐口です。バージョンアップっていうのか、新しいものがあると、他のサイト見ていただければわかるんですけど、
0:49:13	基本的に同じのであれば、
0:49:16	最新のものを、
0:49:18	をするという埼玉なんでそこはちょっとご参考まで。
0:49:22	あと、これって書かれているのは、
0:49:25	赤字で書かれてますけど最後に、これはあくまでも基本とするっていうことで、
0:49:32	なぜ、例えば逆断層
0:49:35	低角とか、
0:49:37	のがある。
0:49:38	これ 45 度だけでいいのか。
0:49:41	考え方を
0:49:43	っていうのと、
0:49:43	もうその今の、
0:49:45	このA5A18 とか、
0:49:47	それから 10 なのもそうなんですけど、
0:49:50	地震動評価の時って、
0:49:53	逆断層だけで、
0:49:55	特に高角とか低角
0:49:57	そういう話ってなかったでしたっけ、その辺も教えてください
0:50:29	はい。中部電力浜野です。すみませんちょっと今すぐ、地震の時どうだったかで、あまりその高角低角っていうお話をした記憶はなくてもともと、
0:50:40	当然、プロファイルの中で見えてないので地震のときも、近傍のところを参考に設定をして不確かさを振ったというふうに記憶しておりますんで、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:53	どうしてもプロファイルないというところで今回 61 ページにあるように、標準的に 45° というふうに、各種地形の中で、
0:51:04	設定されてますのでそれを一つの標準として、
0:51:09	海脚西部との設定を準用することに、と比べてどっちが保守的かというのをお示したという形でおります。
0:51:23	ごめんなさい私の言い方があまりよくなかったかもしれない。
0:51:27	当然ながら、
0:51:29	この、いわゆるそのレシピについては、
0:51:31	これに続くものがまだ、
0:51:34	あるわけなんですよ。
0:51:35	実際には、
0:51:37	ただしそこに書かれているのは、
0:51:39	長期評価等で、
0:51:41	長期評価等じゃない、長期評価により、低角または工学等、
0:51:46	ある場合には、っていうんですけど、そもそもこれって、まず長期評価に出てない。
0:51:51	だから、
0:51:51	そういうところに、低角とか高角、
0:51:55	という場合の、
0:51:57	事はなくって、でもそれも調査、調査結果御社が調査した結果からも、
0:52:04	これ確実に高角だとか
0:52:06	正確だと。
0:52:07	そういうこともいえる。
0:52:10	こともないので、
0:52:11	一般的なというか、基本的なこの 45 度
0:52:14	というものをういた、そういう理解で、
0:52:19	はい。中部電力の盛です。補足いただきありがとうございます。そのように我々も考えております。衛藤。
0:52:26	61 ページ赤字で記載させていただいている文字のところですねまず、わからない場合については、
0:52:35	周辺にある同じようなタイプの断層から、傾斜がわかるかっていうのを確認すると、こちらと整合する形で我々も近くにある御前崎海脚西部と同じような設定とパラメータ数で実施しているものというふうに考えています。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:49	で、それもない場合には、標準的には 45 度というのが記載されている ということですよ。で、次のページに、62 ページに、45 度の
0:53:01	設定の場合と、今、御前崎海脚西部で設定している断層との
0:53:07	断層面を示しておりますけれどもそこまで不整合があるというものでも ないので、近くの西部の断層体のものを持ってきて、これをもって高角 だとか低角だとかってというような判断ができるものでもないというふうに 考えています。
0:53:23	中部電力浜野ですちょっと今ご確認いただいている中で私自身も思った んですけどもともと 518 とか 17、いずれも褶曲を
0:53:36	の下に見ているということで、この東西圧縮の場の何か、
0:53:41	っていう意味で、成因としては似たようなところであろうということに当然 私たち考えた上でやっていますんで、ちょっと近くにあるからだけだと。
0:53:51	説明が弱いんでそういった、成因も見たようなものであろうというような、 少し考察を加えて、これで良いとは思いますが標準的なものと比べて、
0:54:03	それでも保守的ですよというような説明を加えたいなと考えます。
0:54:12	はい。規制庁さん、昨日わかりましたのでそこはちょっと説明を加え、
0:54:17	なりして、とにかく 45 度と比べればいいんだよというところをはっきり
0:54:22	書いていただければと思います。
0:54:35	はい。他、この傾斜角のところ、
0:54:40	よろしいですか。
0:54:44	はい。
0:54:45	そうすると、もう 1 点が上端深さですね。
0:54:51	今回新しくせ、詳細検討に、
0:54:56	ああいった 17 も含めてですかね、深さ 0 キロということで、
0:55:03	これはもともとの、
0:55:06	地質構造
0:55:08	部はいいんですけどちょっと待ってくださいねえ。
0:55:13	それで、
0:55:15	はい。
0:55:22	規制庁の名倉です。
0:55:25	何か私、
0:55:30	そうですね。
0:55:34	地震調査委員会が出してる強震動予測式とか、
0:55:39	こう見ると、
0:55:40	何か全然、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:42	これでいいのかどうかっていうちょっと、
0:55:44	参照するものを特定し過ぎてるような気がしていて、
0:55:49	強震動レシピとかもちゃんと踏まえた上で、
0:55:52	ここに書いてあることが本当に 45 だけでいいのかって、
0:55:56	フローがありますよねレシピとかで、
0:56:00	それに基づくと低下効果負荷ってということによって、振る幅が大分違ってきていて基本は 45 度、
0:56:07	低角の場合は 30 度とか、工学の場合 60 とか、
0:56:12	何か、
0:56:12	そういうか設定の考え方があるのでそういうことも踏まえた上で、
0:56:18	基本は 45 度なんだけど振る角度がどこまでかって、
0:56:22	ていうのはちょっと何か、
0:56:25	何かよくわからんなという中部電力のこの説明でいくと、
0:56:31	どこまで触ればいいのかってところをこれ、検討したのとして 45 でいいのかってということについてはちょっともう少し、
0:56:39	何て言うのかな。
0:56:44	説明をしっかりといただかないと、
0:56:47	その場合に強震動レシピとかも踏まえた説明をちょっとしていただけたらなと思います。
0:56:53	私からは以上です。
0:56:59	はい。中部電力の盛です。はい。今しがたの佐口さんからもコメントあったようにちょっとレシピを踏まえて、低角かコウカクカという判断をどうしてるのかという話と、それを踏まえて今回この 45 度で
0:57:11	検討しているところを少し整理させていただきたいと思います。
0:57:43	はい。
0:57:52	次に上端深さですね。
0:57:55	これが変更を反映しますと 17 は今回初めて詳細評価あるので 68 ページですかね。
0:58:04	で、
0:58:05	518 はということで、
0:58:09	5、18 のいわゆる比較評価地点の最大ケースが変わったのが、
0:58:17	敷地前面と 12 号取水槽と、
0:58:22	下降側のサンゴ取水と、
0:58:26	なんですけど。
0:58:28	これ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:30	敷地前面の 6.2、これはだから、前田海脚西部の方を更新してるんで、
0:58:37	これわあ、
0:58:39	大きくなった、大きくなったっていうか今回 0 キロケースを足しただけなんで、基本的に赤がついてるものは前回より数字が上昇が大きくなって下降が小さくなるしかないと思うんですけど、
0:58:52	ちょっとそうなるんですけど何かこれ。
0:58:54	前回との比較でいうと、6、
0:58:57	前に、あとは、12 号取水槽の 1.7。
0:59:01	加古川ー2.0 ちょっとこれに対応する、いわゆる、
0:59:07	上端深さ 0 キロケースをやっていない。
0:59:10	場合、
0:59:12	この数字って教えてもらっていいですか。
0:59:25	22 ページとかを見た方がいいのかな。
0:59:32	中部電力加藤でございます。前回から、前回との比較結果の比較につきましては 22 ページに記載してございまして、
0:59:47	はい。こちらで 5、18、
0:59:50	518 断層につきましては、前回は敷地前面で 4.6 メートル、
0:59:58	それに対して 6.2 メートルになったということでございます。
1:00:05	はい。
1:00:06	うん。そうなんですけど、これ。
1:00:12	出水。
1:00:15	これあれですか前回はだから 2 キロケースだったものが今度間の数字が 2.5 キロケースになったんで、それによって、
1:00:22	12 号取水槽が 1.8 メートルだったのが 1.7 メートル小さくなりましたってそういうことですかこれ。
1:00:32	大丈夫です。この前回、0 キロ係数が最大だったんですけども、
1:00:41	あ、すいません、前回ぜ、2 キロケースが最だったんですけども、今回 0 キロにしたことによって、基本モデルの断層パラメータも、今回、
1:00:51	変わっておる関係で、パラメータスタディやった時に、0 キロケースのものが、今回チャンピオンになってこの
1:00:58	敷地前面で 6.2 メートルに上がったんですけども、12 号取水槽に関しては、若干、0.1 メートルほど下がる結果になってしましまして 1.7 メートルと。
1:01:09	というような結果になってございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:12	若干、滑り量自体が小さくなっている影響で、このような形、若干下がるようなことになっておりますけれども、敷地前面地点におきましては、御前崎海脚西部の断層体、
1:01:22	よりも大きくなる安全側の評価となっておるとのことと、また取水槽地点に関しましては、こちらこちら野瀬アマヤオザキ海脚西部の断層体の方が、
1:01:33	影響が大きいということになっているので、小評価結果としては問題ないかというふうに考えております。
1:01:45	なので、別にコメント書きコメントで上端を0キロっていうと多分他の
1:01:52	御前崎海脚とかと同じように、基本ケースが2、2じゃなくて2、2.5になりますってことなんだと思うんですけど、ちょっとそのコメント回答の仕方として、
1:02:03	0キロまでを考慮することに変更、0キロ係数を追加で解析したのか。
1:02:09	というふうに見えてしまうので、ちょっとコメント回答、コメントを踏まえて、どういうことをやったのかっていうと、多分基本ケース自体を、他と合わせて2.5にして、
1:02:22	0キロと後広野を量は見ましたです。
1:02:26	5キロの方は当然解析しないで変わらないということです。
1:02:30	ちょっとそのコメント回答の仕方ですかね。はい。やってる処理はわかりました。
1:02:36	すいません中部電力の盛です。今のちょっと基本モデルのところ、説明さしていただきたいと思います
1:02:44	51 ページのところ今回、コメント回答の概要というところで、どこを変えたのかというところを記載させていただいています。ちょっと今後もう少し、その部分見えるようにさせていただきますけれども、
1:02:59	下側の、断層パラメーター、そもそも断層パラメータをどう設定するのかというところで、前回の左側、
1:03:07	土木学会に従って演習と、西部は0キロ。
1:03:12	58 については2キロというふうに設定したところを、前回の審査会合の議論で、調査結果からここだけ、2キロにするというところというのを決めるほどの知見がないということで、
1:03:25	518 と今回追加した17についても、西部、
1:03:30	いや、遠州断層系と同じように、0からの設定で波源モデルを設定していくということに変更してございます。
1:03:38	で、その変更前後が、53 ページにございまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:44	前回、2 キロから 15 キロというふうにしていたところを、上側の上端だけ
1:03:51	反映してましたがは土木学会というところも、ちょっとここだけというの
1:04:02	も、説明上、整合していませんので、遠州断層系等とあわせて、 上端下端については、調査結果ではなくて土木学会に従って設定する ということを行っています。その関係でパラメータが少し変更になってい るといふところの影響が出ているものと考えています。
1:04:14	ただ、0 キロまで考慮することによって、敷地前面では影響が大きくなっ てるといふこととございます。
1:04:23	清町の名倉です。ちょっとお聞きしたかったのは、
1:04:26	先ほどの基本モデルを、
1:04:30	断層上縁深さ、これが、
1:04:33	2.5 キロ。
1:04:36	断層上端深さが 2.5 キロになったこと。
1:04:41	が、
1:04:43	提供してる。
1:04:44	ていう理解、それともパラメータの設定方法それ以外にもか。税変わった 部分があつてそれが影響してるのか、そこだけちょっと教えてもらえま すか。
1:05:04	はい。中部電力の盛です。まず、モデルを変えていますのでその影響 は計算結果にはすべて出ております。
1:05:13	53 ページでお示している、断層上端深さという欄を、前は 2 キロで 設定してるところを、0 から 15 キロというふうにして設定をしているとい うところで、計算結果確保、
1:05:26	ここでも変わっています。で、
1:05:28	それ、
1:05:29	の設定した上で、上端深さを 0、2.55 キロにパラスタをしていくと、上端 深さという断層をどの位置に置くかというパラスタをしていますので、
1:05:42	0 と 2.5 キロと 5 キロで計算したということは、でも結果が変わっており ます。どちらでも影響して、いや、ちょっと既設の永瀬
1:05:52	断層上端深さを 2 キロメートルとした場合と、
1:05:56	断層上端深さ 2.5 キロとした場合で、
1:06:00	計算方法は変えていますか。
1:06:03	このパラメーターの。
1:06:06	数値は変わるかもしれないけど、方法は変えてないですよ。
1:06:16	うん。書いて

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:17	中部電力浜名でございます。方法は書いてなくて、基本的に津波評価 なんで断層長さが決まって傾斜角によって、
1:06:28	肩部深さと、上端深さの間で、面積はありますというところの考え方、何 一つ変わってなくて、その状態が上がってくると。
1:06:40	面積が広がるんで河床滑り量が減ってくるという標準的な計算をしてま すが、ちょっと
1:06:48	全体その辺をわかりにくいんで、少し、
1:06:52	こういう
1:06:53	ことをしてますってのわかるようにしたいと思います。
1:06:59	一言で聞きたかったのは、
1:07:01	通常のパラメータスタディをしてる。
1:07:04	ことの範疇で、ただ単に上端深さが 2 キロメートルと 2.5 キロメートル の、
1:07:10	ケース。
1:07:12	そこは算定方法を変えないで、ただその上端深さ 2 キロメートルという パラメータが足んなくなっただけですと、
1:07:20	という、理解だとすると、
1:07:25	2 キロメートルってのが、12 号炉の
1:07:29	結果に対してはこれ、主流でしたっけ。
1:07:35	極値がここで発生していたこと。
1:07:39	12 号取水槽での、
1:07:41	1.8 メーターという極値が、
1:07:43	2 キロメートル断層上端深さ 2 キロメートルという、
1:07:47	設定で出ていたと。
1:07:51	という理解でよろしいですね。
1:08:03	もう規制庁中で極値かどうかわかんないけど、
1:08:07	たまたまそこところは、
1:08:10	0 キロメートルとするよりも、
1:08:13	2 キロメートルとする方が、
1:08:17	厳しい結果になっていたんで、最大値としては変わってしまいました。
1:08:24	それをどういうふう to 考慮するかって意味では、無視しましたっていうの が今回の結果なんですね。
1:08:32	これを無視していいのかわかって、ということについてはこれは議論 が必要かなと思いました。以上です。
1:08:52	ノロ、中部電力天野でございます。おっしゃる通りで、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:57	2 キロの時の 12 号取水槽が前回提出したより下がっているというところは事実で、
1:09:06	一方で、この活断層の評価、
1:09:14	はい。
1:09:16	はい。で、
1:09:17	ただ、海脚西部の方が、影響が大きいという意味において、要は、極値
1:09:27	活断層評価という中では、
1:09:31	チャンピオンではないというところがありましたので記載をしていないというところですがちょっとその辺りは、
1:09:39	年しっかり説明できるように、
1:09:42	したいと思います。
1:09:48	はい。
1:09:49	成長するケースはちょっと 1 度、結果としては出ているものがあるのちょっとその扱いというかそこら辺は、
1:09:59	ちゃんと説明をとと思いますが、ちょっとすいません、もう 1 度教えて欲しいんですけど。
1:10:05	あれだからもともと、
1:10:07	2 キロケースに長短 2 キロケース 2.5 キロケース 5 キロケースがあつ。
1:10:15	解析の最終結果 69 ページを見ると、この 2.55 キロケースは多分どのパターンもすべて黒字が全く変わってませんと。
1:10:26	で、
1:10:28	0 キロ。
1:10:31	城断層上端深さ 0 キロ。
1:10:36	言われているのは、
1:10:39	これ各評価値の最大値でこれから、2.5 キロと 5 キロは、これが前回から、
1:10:46	変わらないとか数字自体も変わらないし解析もしてなくて、
1:10:50	2 キロケースで表、上端深さ 2 キロケースでやってたものが、0 キロケースになったんで、
1:10:57	それが置きかわりましたっていうものの見方でいいですよ。2.5 キロと 5 キロのやつは前回会合の数字から、
1:11:04	一つも変わってませんちゅうことで、
1:11:08	はい。中部電力の盛です。69 ページの赤字は、一番大きいものを、赤字でいるので

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:17	前回から変更を赤字でしているわけではなくて一番大きいもの今塗っているというものです。で、計算結果自体は、先ほ
1:11:26	ちょっとまたきちんと説明できる資料をお持ちいたしますけれども、先ほどのパラメータ設定の変更に伴って変更になっていますので計算結果自体はですね、
1:11:37	はい。ちょっとそこを説明できるようにさせていただきたいと思います。
1:11:47	はい。はい。はい。
1:14:01	はい。
1:14:02	なんでちょっと前回はね、5キロ仁木 2.5キロ 2キロだったものがそれを2キロ0キロにしましたと言って、
1:14:11	じゃあこれなんか、0.5キロ刻みでやりますかっていうと多分それはそういうパラスタ一別にこれまでもやっていないし、
1:14:17	ある程度そこはどこか、3段階でっていうことだと思うんですけど、ただもともとやっぱり、
1:14:22	毛利より大きい数字が出てたということではあるので、
1:14:27	ちょっとそこら辺、
1:14:29	最大のものにはねてない場合1ヶ所だけちゅうことですかね。
1:14:35	もちろんそのほかの断層も含めての最大にはねてないんですけど、
1:14:41	これ一、
1:14:42	518-12号取水槽のこの前回の1.8と、
1:14:47	今回の1.7って、実質的にはこのぐらい最後切り上げたり切り下げたりしてるんで、最終的には10センチなんですけど、
1:14:55	実際の
1:14:57	解析でいうと、いわゆる切り上げ切り捨てとの関係でどんぐらい暴れているんですか。
1:15:11	中部電力。
1:15:16	中部Nカトウです。こちら数値に関しては、改正結果すべて切り上げ処理をしておりますので、そこまで大きい差ではないというふうに考えており、
1:15:28	わかりました。
1:15:32	はい。
1:19:06	はい。
1:19:07	ええ。
1:19:08	藤さん。すいませんちょっと。
1:19:12	次、では、どうしますかもし

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:15	この上端深さの話も、
1:19:18	よろしければ、組み合わせの方の、
1:19:22	足に、
1:19:24	コウカトウ。
1:19:25	思いますちょっと前回、
1:19:27	10月11日の資料ですかねちょっとそこから、
1:19:32	ババに大幅というわけじゃない少し説明充実、
1:19:36	いただいとっては思っていて今日聞いては。
1:19:41	たんですけど、もう
1:19:52	ツガネどこを見ればいいかな、24とかにちょっと24ページはさすがに文字だけなので25ページで、
1:20:04	どうだろうか。
1:20:07	ちょっとこれ、地学的背景と中に入れるか発生要因同士の関連性の中に書くかというのは、
1:20:15	あると思うんですけど、とりあえずまずあれですかね先に、もう組み合わせるといふうに決めてる。
1:20:22	下の方が、これ一応社としては、何か地学的背景をまず一律こう整理した上で、
1:20:30	少し関連性という意味少しこの誘発なんですとかね、離れた別の大地震の話と、もう少しその連動発生みたいなところに、
1:20:39	展開していくというよりは、入口のところで、
1:20:43	丸萌友コマ誘発型のプレート間地震の巨大地震が起こった後に、別の場所で別の場所っていうか、
1:20:50	離れたっていうとどこまで離れたかっていうのはもちろんあるんですけど、別の大地震の発生って話と、
1:20:56	連動なしと入口で分けた上で、
1:20:59	それぞれに関係する地学的背景と、それぞれの中での関係性っていうふうに、
1:21:06	入口を大きく二つ分けたって、そういうアプローチでよろしいですかねこれは、
1:21:14	はい。中部電力の盛です。はい。おっしゃる通りです。25ページで記載させていただいてますように、
1:21:22	プレート間地震が発生して、それに伴って、何らかの因果関係を持って、他の地震が発生するというような状況を考えたときにまず、重なる重ならない置いておいて二つ考えられるだろうということで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:35	応力変化に伴って発生するという場合と、破壊が直接伝播する場合と いうように二つ、入口として分けた上で、それぞれの検討を行っています。
1:21:50	はい。わかりました。なんで両者を多分一色単にして地学的背景オガワ っと書くと、
1:21:56	多分、
1:21:59	誘発型の話と連動話で使うときに、ごちゃごちゃになるから、入口を綺麗 に分けましたっちゆうことで、
1:22:06	そこは説明は理解しました。
1:22:09	先にこっちの方聞いといた方がいいのかな。
1:22:14	連動発生の方で、
1:22:16	イマダから、1 学的背景としてはプレート境界から枝分かれする断層が あります、分岐断層がありますと。
1:22:25	実際にそういう破壊伝播も確認されてるし、この辺りはもともと、
1:22:31	昔からですね、過去にも言われているところではあるので、
1:22:35	それに対し下盤側まあそんなものはありませんということでこれは多分 事実としてそうなんでしょうと。
1:22:41	そこカラー
1:22:44	津波評価上の関連性摩擦地震動の方でもねすでにどちらも連動評価っ ていうのはやってる事実はあるんですけど、
1:22:54	分岐断層がある。
1:22:57	のDenali口数区内地震ともに関連性ありと評価をするっていう、
1:23:03	ところこの間ですね。
1:23:07	分岐断層があるので、分岐断層をやります。内陸地殻内地震もっていう ふうに行くので、
1:23:12	ちょっとこの部分これもこれまで何度もご説明いただいている部分だとは 思うんですけど、
1:23:18	どこで内陸地殻内地震の断層も含めて、
1:23:22	1 段幅広幅っていうか対象広げるわけですね。
1:23:27	ちょっとその部分が、もう少し地学的背景っていうかこの辺りの何か断 層の成因とか性状とかですね。
1:23:35	そこら辺もひっくるめて、ここは分岐断層に限らずこれもや、
1:23:40	言った方がいいんだやるべきだっていうところ。
1:23:43	そのあたりをちょっともうちょっと詳しく教えていただいているいいですか。多 分後ろのページに飛ぶんだと思いますけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:53	はい。中部電力の盛です。43 ページのところで少しご説明させていただければと思っています。
1:24:03	当社浜岡の海域の活断層として分岐断層ってのよく知られていて、それとは別に、
1:24:10	分岐断層ではない、通常の海域の活断層というのも認定しているというところで、
1:24:16	海域の活断層の評価方針として、
1:24:20	分岐断層があって、それに、の繰り返しによっても外縁隆起体の顕著な地形的高まりってのが形成されていると考えられると。
1:24:28	このことから、両者それぞれ異なる検討するという方針にしています。
1:24:33	で、
1:24:34	その下、分岐断層と地殻内地震として考慮する活断層の選定ということで、これまでご説明さしていただいておりますけれども、それぞれ選定していくと、で、
1:24:46	それぞれ選定したものについて分岐断層については、プレート境界からの破壊が伝播するものとして左下のフローのところで、
1:24:56	プレート間地震津波評価の中でこれまでご説明さしていただいております。衛藤今後組み合わせのところ右側の通常の地殻内地震として考慮する活断層、
1:25:06	については、まず単独として評価は、この海域の活断層の地殻内地震の評価で行うということと、
1:25:14	またというところで、分岐断層とされる知見はなく、まがい隆起体のような、地形的高まりとの関係も認められない。会議の活断層は、プレート境界の破壊をそのまま伝播するということは、
1:25:28	考えにくいものの、プレート境界の宇和盤に位置していて、
1:25:32	プレート境界の破壊が分岐断層のように
1:25:36	破壊が伝播して発生するという可能性は否定できないということを慎重に考慮しまして、組み合わせとして考慮するということを考えています。
1:25:59	あ、
1:25:59	なるほど。はい。ちょっともとの活断層評価のところだったりっていう、ちょっと古い花しいがわからないんでちょっと教えてもらいたいですけど。
1:26:10	一応こって、その分岐断層と言われているものとそうじゃないものって、かなりなんか確定的に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:17	もう何ていうか、いろんな研究とかで異論がないほど、これは絶対分岐断層これは、分岐断層ではないってそこまでなんかはっきりと、
1:26:26	言われてるんでしたっけそれとも。
1:26:28	いや今後の何か研究の進展によっては、何かこう例えばコウ、
1:26:33	昔どこかで見たことがあるのかな、議事録とかで見たことがあるのは、何か遠州断層とかも何か、もしかしたら何か分岐断層の一派なのかもしれないとあって、
1:26:43	何か根拠があっっておっしゃってるような発言なのか昔のコウ会合会議とかです、審査会合じゃないんですけど、
1:26:49	議事録とかで、
1:26:51	多少何かこう、分岐断層と分岐断層じゃないものってどこまで明確にはっきりという確定的に言われてるのかなというところを教えてくださいんですけど。
1:27:08	中部電力の小河です。61 ページの、
1:27:11	図をちょっとご覧いただければと思います。
1:27:14	この辺の、南海トラフの御前崎の辺りの開キーの断層なんですけれども、基本的には、トラフに近いところについては、こういった断層、
1:27:25	が認められてるっていうところがありまして、それより内側に関しなるとですね、宗教構造だとかそういったものが見えていても、こういう活断層として認められるものは確定少ないと。
1:27:37	いう状況になっています。先ほど盛から説明させていただいたように、プレート境界のトラフのほうに抜ける場合と、
1:27:45	あとその分岐断層として、外縁隆起タイトルの方に抜けるもの、そういったものが一般的に分岐断層と言われていて、そういった分岐断層の抜ける場所の活動については、
1:27:55	地形的な高まり、ガイド機体として形成されていくところがありますので、基本的にはそういったものが分岐断層と一般的に言われているのかなと思います。
1:28:06	それ以外の内側にあるものについては、必ずしもそのプレート境界の潜り込みっていうのが、の、
1:28:13	応力の解放が横ずれみたいな演習とか、そういったものについては、横ずれ成分を持ってるといって、そういったところで解消してるものがありますけれども、今ご説明したような感じで、
1:28:24	基本的にそのトラフに近いところは分岐断層というふうに考えていただければいいんじゃないかと思う。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:35	既設の名倉ですけど、38 ページで説明してもらえませんか。
1:28:41	敷地はどこら辺に当たるんです。
1:28:58	はい。中電力のモリです。38 ページの左の図でいうと、
1:29:06	ABCとあるようなところ、Cのところアノ会盆内になりますので海の底ということになりますので敷地は、この絵よりももっと左側というか、いうふうになります。衛藤。
1:29:18	38 の日、右側の座よりクローズアップしたのになってますのでえっと、30、
1:29:24	8 ページの左側の図よりも左もつと左側です。で、
1:29:28	うん。
1:29:32	うん。
1:29:33	はい。
1:29:34	で、37 ページのところに
1:29:38	陸まで含めたような所、
1:29:40	ちょっと模式図があるんですけど、今、窪んでる、
1:29:46	内陸地殻内地震の断層というような辺りが解剖になりますので、この
1:29:51	ぎりぎりぐらいまでがアノし、38 ページの図で入っているというぐらいな、
1:29:56	イメージです。
1:29:59	はい。規制庁の名倉です。
1:30:02	38 ページとかの図で見たときに、
1:30:06	分岐断層で序列が良いスラストって書いてあるのが分岐断層。
1:30:10	理想とするもののように、
1:30:12	感じるんですけど。
1:30:14	それが、
1:30:16	左側の図で、
1:30:18	多分これ、模式的な時間経過で、
1:30:21	形成過程書いてると思うんですけど。
1:30:24	何かこれを見てると、
1:30:26	分岐断層の傷跡みたいなものが高圧縮で押し縮まっていく中で、
1:30:32	これが何て言うのかな、もしかしたら、
1:30:39	内陸地殻内の
1:30:42	断層とか海域の活断層、
1:30:44	そのものを、
1:30:46	等、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:47	区別がつかなくなってきたのかもしれないな、どんどんどんどん押し縮められたってきたものが、
1:30:53	木ザードとして残っているのでそのきざと。
1:30:57	のところが、どっちかそれが新たに形成されたきざなのか。
1:31:01	それとも、
1:31:03	こういった形んプロセスで、
1:31:06	分岐断層が押し方を縮められたものを広角になってきたものを、
1:31:11	特別つかなくなってきたんじゃないかなっていう気はちょっとするんですけども、そこら辺は、
1:31:17	どうかちょっと、いかがですか
1:31:19	はい。中部電力浜名です 35 ページで、
1:31:24	今までご説明した
1:31:27	活断層の調査結果、
1:31:29	出してますが、今、名倉さんおっしゃられた通り、尾川からも説明しましたけど、トラフ軸沿いの新しいところっていうのが、分岐断層として、江藤、
1:31:40	比較的まだ低角に残ってる。で、よりトラフ軸から離れた、
1:31:47	圧縮場としてずっと押されていっているところに、
1:31:51	逆断層というのを確認できておりますという平面的にはこんな分布ですので先ほどの断面のイメージから、こういった分布になってきているということも、
1:32:03	踏まえまして、分岐断層はプレート間の中で、浅部に抜けるか分岐抜けるかっていうのを考慮しているんですが、やはりこの活断層というところが、にアノズ、
1:32:16	滑りが抜けないとは言えないことから、我々としては多層というふうに考えているが、タテ組み合わせを実施した方が安全側の評価になろうというふうに判断をさせていただきます。
1:34:56	はい。
1:37:18	すみません、考え込んでたんですすみません、ちょっとあれですけど。
1:37:22	そうするとさっきその同じページで言うとコメント回答のどこだ。さっき 25 ページから飛んだのが、
1:37:39	はい。すみません、ちょっと考え込んでいてすみません規制庁スズキですけど。
1:37:45	この辺りの減りあんまり、地震動の時ってエンドウのところそこまで細かく、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:52	学というかこういうところまで具体を聞きしてはなかったと思うんですけど、
1:37:57	この辺りって、もちろん組み合わせをするのか連動として評価するのかとかいわゆる時間差としてどこまで見るのかっちゃうのは当然地震動と津波で、やり方は全く違うんですけど、
1:38:09	震度の方も当然、分岐断層ね単品では当然評価しないんだけど、一応地震へのプレート間との地震動評価の中では連動ケースみたいなものを見ていて、
1:38:18	でかい分岐断層じゃないものは単品としても評価するし連動としても、プレート間と合わせてみますっていう。
1:38:25	やり方はねしてるんで、
1:38:27	そっちの方ももし、分岐断層と分岐断層ではない、地殻内地震も両方やってますよねと言われると、説明としてはこの 43 ページ、同じような説明。
1:38:40	ニワなるんですよね。一応、多分これ前の、
1:38:44	介護資料にもあったかもしれませんけ
1:38:46	はい。中部電力浜野でございます基本的に考え方を、
1:38:50	地震と津波一緒に、分岐断層はそれ単体ですべるというよりは、滑りが原発していくという形になりますけど、内陸地殻内地震はそれぞれ単独で発生してくるというものなので、
1:39:04	その組み合わせというか連動を考慮するという基本的な考え方は、統一し、
1:39:11	おります。
1:39:18	はい。
1:39:25	はい。ちょっとこの後確認しますが、少し何か誘発型みたいなものとかです。下盤側とか、
1:39:32	こう組み合わせないいいもの。
1:39:36	との考え方の差別化というか、多分、そういうようなところがですね、わかるように、
1:39:43	ていただきたい。金戸タダノの考えとしては理解はしているつもりです。はい。
1:39:49	そうするとちょっと今回は割と資料とかですね、過去、前回の会合からかなりいろいろな基礎情報みたいなものを充実していただいているのが、25 ページでいうと上側ですかね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:02	ちょっとこの離れたというとか離れているのか、でもプレート期間と多分、アウターライズって離れてるわけでも、
1:40:12	どこまで物を離れたとかですね、図の中の枠の中にある稀頻度が稀っていうところは、どこまでのものもあれというのかってというのは、多分表現ぶりはあるのかもしれませんが、
1:40:23	一応こちらワー
1:40:26	なので、あるプレート間の巨大地震が起こって、右側にありますように、一般的にはそうすると、画板下盤でこの引張に、
1:40:36	落葉と、そうしたときに、何らかの形で、米自身が、
1:40:43	それによって誘発されるんだけど、
1:40:48	とはいえ、それがある組み合わせ時間というか、
1:40:53	プレート間の最大のものとの組合、別のものを組み合わせて最大と最大でPEEK重ねますかと。
1:40:58	そこまでやる必要がありますかというところでの考察かとは思いますが。
1:41:09	どうしますかね
1:41:11	① と②があって、これは①は、あまり南海トラフ呉
1:41:20	に限らずなんですかね国内外のM9 クラスの地震なんか多分事例によるとということ、こちらはもう少し一般論で、
1:41:28	プレート間で巨大地震が起きたときにどうかっていうのを少し一般論として
1:41:36	その上で、
1:41:38	ここは南海トラフ、特にこういうのですね。
1:41:41	自覚的背景。
1:41:43	なんで下は確かにそうですねサイト固有の地学的背景で、ちょっと上を地学的背景に入れた方がいいかっていうのは、
1:41:50	セイリガクあるのかもしれませんが、一応構成としては、
1:41:55	これは坂下バーンん限らずですね、とにかく
1:42:04	ある程度、巨大プレート間の巨大地震の後に誘発されるものの、
1:42:08	重ねるべきかどうかって意味での、を考慮すべきかどうかって意味での蓋然性。
1:42:14	あとは南海トラフ固有でさらにどうかっていう、この2段構成で今回ご説明されるっちゃうことで、
1:42:21	ここは理解として間違っていないですかね。
1:42:27	はい。中部電力の盛です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:30	おっしゃる通りです。25 ページの 0102 という 2 段構えにしてまして、ちょっと今、今シバタアノ。
1:42:37	ご確認あった国内外のところをちょっとこの地学的背景南海トラフの地学的背景に入れるかというちょっと整理はありますけれども、国内外をまず一般論として見た上で、
1:42:48	南海トラフの事例でも、
1:42:51	あまり重なっては起こりにくいということと、
1:42:55	どういう断層が分布していて、プレート間でどういう作業になるのかという二つ。
1:42:59	地殻的背景として入れ込んでおります。
1:43:07	はい。
1:43:09	そうしていくとですねちょっと細々と全部 1 個 1 個確認を始めるときにはないんですが、
1:43:18	ちょっとこの①の観点のところ
1:43:22	特に具体的な 27 ページからになるんですかね、ある程度文献でこう言われてるファクトの話と、何かここに御社なりに解釈加えてるものって何かあります。
1:43:38	例えば個別の場所、ある場所ではこう言われている。
1:43:42	それを南海トラフに地震なんか、御社なりにこう、
1:43:46	適用範囲、適用範囲っていうと変なのかな。
1:43:49	ようとか、文献で言われてる以上に何か解釈変えてるものとかって、
1:43:53	ちょっといっぱいあるんですね 1 個 1 個確認し出すときりがないんですけど、そういうものってどっかありますか。
1:44:00	はい。図表に載せてるものを文献をそのまま、まず表にしたもので、特に解釈が、図表に関してあるというものではありませんで、
1:44:10	上の箱書きについては、1 ポツの例の文献のものを記載してましてそれを受けて、こういう調査をしますという方針として 2 ポツ目書いてますのでここは
1:44:23	我々の年の調査方針として記載しているものです。
1:44:29	はい。
1:44:30	例えば 26 ページの考え方でいくと①の方は、
1:44:38	これは、
1:44:40	これプレート内地震、海洋プレート内地震も内陸地殻内地震も一応これ M7 以上っていう線引きをされていて、
1:44:51	それは、次のページで言うと鳥羽鳥羽 1978。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:58	あと内閣府ウェブサイト。
1:45:01	いうところで、
1:45:03	あるところで一定の線引きをしてるんですけども、
1:45:06	海洋プレート内イシダ、なんでここで言ってるMだなというものと、御社が想定御前崎だったかなんていう風リリースで、
1:45:15	断層のところで、概略のね、評価までしてやるってということで詳細なパラスタやってませんが、
1:45:22	一応それよりは人もあれ小さいいいものっていう規模感で、別に書いてくださいと言うつもりはないんですけど、
1:45:29	合ってるものとしては
1:45:32	御社が想定をマエダき或いは銭洲断層系で、単品ですすね、ここで評価してるもの。
1:45:39	というよりはそれよりは一回り小さいものよりも大きいものというか、
1:45:45	は捨ってるっていいですかね。
1:45:52	はい。中部電力の盛です。海洋プレート内地震の方でM7.5Mw7.5を考えていますし、会議の方でもM7以上のもの、検討してますのでそれよりは、
1:46:04	一番規模の小さいものと松波を、発生しうるものということでM7クラスということ整理しております。
1:46:12	わかりました。検討の俎上としては
1:46:17	ある程度ですすね。
1:46:18	実際にここで評価してるものよりは広い範囲で俎上には載せて、
1:46:24	おられると。
1:46:25	はい、わかりました。
1:46:27	27ページはこれ、
1:46:29	ただ、それから三陸、明治三陸率の昭和三陸については多分ガイドの方でも何かアウターライズの事例みたいな。
1:46:37	形で上げたりもしてたかと思えますし、千島海溝の、
1:46:43	或いは横ずれだとあれかなスマトラとか、
1:46:46	ものも、
1:46:47	ありますけどここワ一確かに書いてあると一般的にこういうものが広く知られてるものでは、
1:46:55	こういうものがあります。
1:46:56	いうことで、
1:46:59	はい。中で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:01	ここで、
1:47:02	M7 以上についてプレート間地震を 10 年、
1:47:09	うん。
1:47:10	何か例示のところは、確かに 37 年後とか、多分このぐらいの数字、10 年を超えるような、発生事例っていうのはざらにはあるとは思いますが、
1:47:20	一応ここ 10 年で切っ
1:47:22	ているっていうところを、
1:47:25	もうちょっと、
1:47:27	詳しくというか、当然 10 年で切ると、10 年よりも後で発生したようなものっていうのはこの後の中には出てこないの、
1:47:39	何とか相対的に、10 年 10 年よりも、後に発生したようなものであれば、
1:47:45	を除くと、全体としては何か、
1:47:49	10 年以内の中で物事を見るので、
1:47:52	10 年以降のものを加えればですよ、よりもっと長い時間をかけて、
1:47:57	長いスパンで発生するんだなというイメージもあるんですけど、
1:48:01	ちょっとここ 10 年で切ってるっていうところだけ考え教えてもらっていいですか。おかしいと言ってるつもりはないんですけど。
1:48:09	はい。中部電力の森です。ちょっと説明をどうするのがいいのかっていうのは、もう一度考えてみますけども、
1:48:16	2 ポツ目のところの、松波の組み合わせをそもそも検討するという観点からの検討を始めてますので、ちょっと、そもそも 10 年でも長過ぎるだろうとは思いつつやっております。で、
1:48:27	ただ、
1:48:30	あまり絞りすぎと全然データが入ってこないというところもあるので、一旦
1:48:34	数行程度でもデータが入ってくるだろうということで 10 年間という区切りをもって、県発生状況を今回は確認したというもので、
1:48:45	はい、わかりました。
1:48:47	一応それをどこまで、
1:48:51	知られてるものの中でもある程度ってことで、28 ページですかね。
1:48:57	今日mない場とすると、一応東北オオキ。
1:49:02	のところでもう何件かあります最短だと 40 分ということで、
1:49:08	スマトラだと 7 ヶ月。
1:49:11	アラスカは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:14	十年間で発生なしですけどこれ、何でこれ 10 年、
1:49:19	超えると、実はありましたっていうの、何らかM7 以上あるっていうのは、
1:49:24	わかりますかね。
1:49:31	コミュニティがあるのかなこれ。
1:49:33	はい。中部電力永松ですアラスカの地震については十年間ではないんですけども、どれぐらいの間隔かっていうと、
1:49:40	確かですけど、23 年、
1:49:43	ぐらいだったかでは発生してた。
1:49:51	はい。なので、一応 10 年で切ってますけどうちに、必ずしもその大半が十年間で起きるとかっていう意味で切ってるわけじゃないってことなんで、はい。
1:50:00	とは言いつつ、あまり 1 年とか、1 ヶ月 2 ヶ月で切ると本当に事例なしみたいなものになってあまり検討にならないので、
1:50:08	はい。一応こういう形で、ある程度時間軸があるっていうようなご趣旨強いですかね。
1:50:15	はい。何かここはファクトなの 28 ページとかですかね。
1:50:21	で、一方で南海トラフはということで、
1:50:27	ここは 29 ページ南海トラフ方なんですけど、結局食うこのプレート間地震後の別の大きな地震という意味で、何かここはいわゆる南海トラフとそれ以外のところで、何か機器、切り分け、
1:50:42	られるとか切り分けようかっていう、
1:50:45	そういうものではないっていう理解でいいですか。
1:50:50	中部電力の森さん。特に切り分けがということではなくて国内外の一般的な
1:50:57	知見ということで 28 ページ、29 ページの南海トラフも同じように、本震後のM7 以上の方その他の地震ってのは発生していないという状況をお示ししているというふうに、
1:51:08	に、説明として構成しております。
1:51:17	はい。
1:51:26	一般論としてはそういうことではない。
1:51:30	ちなみになんですけど、これは何で今、別にいい足りてないと言うつもりはなくてこれプレート内地震の方の扱いをどうするかなんではあるんですけど、
1:51:41	これは、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:44	特にこういうある程度感覚を持ってっていうと、
1:51:49	内陸地殻内になると、それは別のところでの検討になるんですかね、水足これ検討されてるのは、プレート間地震後の、
1:51:58	別の海洋プレート内地震の方をやられていて、特にプレート間地震後の、いわゆる上盤側の、
1:52:06	話というのは、
1:52:09	特にはこの①の中には入っ
1:52:12	てない。
1:52:14	のかな、ないってことでいいですかね。
1:52:18	はい。中部電力永松です。28 ページをちょっと見ていただきまして、
1:52:24	ちょっと結論から申しますと、右腕イシタ番という区別はここではしてませんで。はい。ちょっと説明が御説明抜けていたんですけども、
1:52:32	28 名、ページで言いますとちょっと古い下側に表示してるアラスカとチリとカムチャッカについては、プレート間、
1:52:40	なのかどうかという判断をする。
1:52:43	根拠が収集、古い地震もあったということをもた収集できないので、全部表示しているんですが、
1:52:49	上についてはプレート間地震は坂下盤区別。
1:52:52	せずに示している。
1:52:54	29 ページ、30 ページの、南海トラフについても、これもちょっと古い地震だということもあってですね。
1:53:01	規模で単純にピックアップしているというものになります。
1:53:13	わかりました。一応 25 ページで宇和番下盤にかぶせる形で、
1:53:20	いるので、
1:53:22	うん。だってここは何で内陸地殻内地震もしくは、
1:53:26	甲斐遅れてない地震とあってこの段階で別に切り分けてなくて、あまりウタ右腕下盤に限らず、
1:53:34	プレート間地震を、のに送るようなある程度大きい規模、
1:53:40	内陸の地震というのはもうこういうもんですよというのを、基礎データとしてまとめた。
1:53:46	ことですかね。はい。
1:53:51	この辺りは少し一般論に近いような
1:53:57	何かありますか。
1:53:59	はい規制庁佐口です。
1:54:01	ちょっとこの 28 ページで確認をさせていただきたいのは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:54:06	もちろん古い地震とかもあって、
1:54:09	情報自体がないものもあるのかもしれないんですけども、これは実は②にも、
1:54:15	この後関係してくるかもしれないので、
1:54:19	少なくとも、宇和ばイシタ版わかるものについては何かこう表示を変えるとかですね。
1:54:26	していただいた上で、
1:54:29	それぞれの地震が特に新しいんだったらすぐわかると思うんですけど、これって、メカニズムっていうんですかね、いわゆるそのどういう、
1:54:37	タイプの、
1:54:39	正断層型逆断層それぐらいわかりますよね新しい。
1:54:43	そういう情報はやっぱり入れて、
1:54:45	いただく。
1:54:46	たいなど
1:54:47	それが結局多分②とも関連してくる繋がって話になると思うので、
1:54:53	そこは分かる部分については少なくとも入れていただきたいと思うんですけど。
1:54:57	お願いしますね。
1:55:02	はい。中部電力の盛です。承知しました。2011年とスマトラについてはどこで起こったかということメカニズム解わかりますので、ちょっとこの趣旨は、そもそも、
1:55:15	メカニズムにかかわらずあまり起きてないということをちょっと主張するスライドですのでまたちょっと別ページで、わかるようなものを用意させていただきたいと思います。
1:55:56	規制庁の山下です。
1:55:59	27ページ目のところなんですけど今まで議論してたところで、
1:56:04	まず、この塗布、上の箱書きのところの二つ目のポツで、
1:56:09	今回M9クラスと、南海トラフのは、
1:56:13	について見られたっていうことで、
1:56:15	まず、M9クラスにしてる理由とかがあってありますか。
1:56:20	なんでこれだけでいいのかなっていう、
1:56:23	まず、
1:56:23	単純な質問です。
1:56:27	はい。中部電力の盛です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:30	プレート間地震の津波評価自体がM9 クラスの津波会を実施してますので、その観点でまずM9 クラスの巨大地震というのを調べたということです。もちろん南海トラフの評価でもありますので、そこについてもきちんと調べて、
1:56:43	ということです。なるほど。ただ南海トラフの方で見てるのは、M8 クラスとかの見られて、そこに整合性がどういう。
1:56:52	ところがないですか。
1:56:53	起きてない。それはそれで、ちょっと一方で、11 ページ目のところ見ると、基本的に類似した回帰プレート、
1:57:03	海洋プレートのところを
1:57:05	見ていくっていう、
1:57:07	ところがあるんですけども、
1:57:08	そっ
1:57:09	類似したことのプレートの方の情報があった方がいいのかなっていうふうに感じたんですけど、一貫性といいますかその辺りはどうでしょう。
1:57:22	はい。中部電力の梅津こちらの11 ページに書いてある地震規模の議論でそもそも最大規模としてどういうものが起きるのかという議論の時に、類似したプレートも、
1:57:34	見た方が、最大規模をきちんと抑えられるんじゃないのかという観点で説明として追加したものになります。で、
1:57:41	今回は
1:57:43	一般事例としてちょっとM9 は入れましたけども、そもそも地学的背景南海トラフのサイトの地学的背景という意味では、南海トラフのところをきちんと調べるということかなというふうに
1:57:56	思っています。で、ちょっと先ほどのM8 しか起こってないというのはもちろんその通りで、
1:58:03	ちょっとその辺りもあるかなと思ってやっぱり、その余震としては一段、規模が小さいものが起こる可能性もあるかなということで、参考情報として20、
1:58:14	30 ページですね、ちょっと津波を起こさない規模かもしれないんですけどもM6 クラス以上、M6 以上の地震についてもどういうものが起こっているのかということは整理をしております、
1:58:25	そこまで急に数が増えるということでもないということも確認をしております。
1:58:30	それは、南海トラフについてっていうことです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:58:33	はい。中部電力のおっしゃる通りです。はい。
1:58:36	なるほど。POS、
1:58:38	ただ、そうですね。
1:58:41	あと先ほどの 27 ページ目のところで、
1:58:44	前村ラジオを見てると、その根拠が、
1:58:49	羽鳥先生の 1978 年の
1:58:52	なんですけども、
1:58:53	最近でも、いわゆる、
1:58:55	津波が起こるのはM7 以上という
1:58:57	のが一般的なんでしょうか。
1:59:01	はい。中部電力の盛です。ちょっとここはどこまでを足切りにするのかと いうことではあるんですけども、MRクラス以上になってくると、やっぱり 滑り量もメータークラスになってきますので、
1:59:14	今、我々の
1:59:17	審査ガイドに基づく安全評価上の評価っていうところでは津波が、潮位 を超えるぐらいの規模から考えるということでM7 以上というのは妥当じ ゃないのかなというふうに思っています。
1:59:28	一般的にも服部先生からということでもっと古いのを引きましたけど も、内閣府も含めて、M7 を超えると比較的堅調で観測されるような津 波が起こっているっていうのは、一般的にも言われてるのかなとちょっと 調べた限りでは考えております。
1:59:41	なるほど。はい。そしたら 2016 年の福島沖とかもありまして、
1:59:47	その辺りも調べられた方がいいのかなと思い
1:59:51	そうです。
1:59:53	あの時、Mw6.7 ぐらいでしたかね。
1:59:57	それ津波怒ってて、
1:59:59	当時は 6.6 とか 6.7 ぐらいかなっていう、そのぐらいから起こると。
2:00:04	言われてたんですけど、福島沖以降、6.5 ぐらいに下がったんじゃない かなっていうのが、個人的な認識です。
2:00:15	はい。中部電力の盛です。おっしゃる通りで足切り、足切りというのは閾 値をちょっとどこまで設けるのかということはありません。で、ただ 32 ペ ージでお示しさせていただいてるように、今回、
2:00:29	マグニチュードではなくてmJでピックアップしてきてますので、
2:00:35	ご指摘、ご指摘というかここに受けたような、福島沖例えばナンバー3 のメカニズム解は盤で発生してる地震だとか、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:44	浜通りのナンバー1の地震なんかも一応Pカバーしておりますので、そういう、今の点は漏れがないかなというふうに考えています。
2:00:55	ありがとうございます。
2:00:57	あともう1、
2:00:59	点あったんですけど、
2:01:01	今回その上盤側の方は、応力変化に伴って、
2:01:07	に伴って起きにくくなると逆断層タイプだから、一方で、その地震版みたいなのが直接到達して、そっちの方で起こりますよっていう、
2:01:17	そっちの方で同時発生みたいなのが起こりえますよっていう論理でよかったです。
2:01:22	まずは、
2:01:23	いずれにしろ、上盤側の方は、
2:01:27	組み合わせを考える
2:01:32	違います。
2:01:37	ウダヨコヤマのでございますおっしゃる通り先ほど、衛藤名倉調整官以下と少し
2:01:44	意見交換というか、確認いただいた通りで上盤側にあるところというのは、分岐断層の成因も含めて、
2:01:54	活断層があると、そちら破壊伝播して、連動する可能性が否定できないということでこちらは、
2:02:04	プレート間地震と組み合わせを
2:02:06	実施しますということが私たちの衛藤。
2:02:11	方針になってございますがちょっと、
2:02:15	なぜ活断層はやるんだけど、海洋プレート内は、やらないっていうところで少し、そ、そのメカニズム的なところ、だから成因なんかも含めて、
2:02:27	もうちょっと書き出そうと思っておりますが、
2:02:29	大きな意味としてはそういうこと。
2:02:32	山下さんのご理解の通りでよろしいですか。ありがとうございます。それでちょっと、それやったら特についていうところなんですけども、何か緑園例えば35ページですかね。
2:02:43	ここのところ応力変化の方は、断層、上盤側の逆断層タイプの方は、弱めるっていうことだったんですけど、
2:02:52	何か、
2:02:53	左の図で4番見てみると、
2:02:57	実際そうなのかなとちょっと不思議、疑問に思ったんですが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:02	つまり、引っ張り側の方に、院長側の方に、
2:03:06	とし、直交する方向に断層があるときに、
2:03:11	それって、逆断層タイプのす。
2:03:13	圧縮を弱めるのかなってというのが、
2:03:16	丹。
2:03:18	どうなんでしょう。
2:03:25	もう少し言うと、よ、いわゆるプレート間地震の後の余震で、
2:03:31	逆断層タイプが起こらないっていう。
2:03:34	ことに。
2:03:36	言ってるのと同じ、同じなのかなと思ったんですが、
2:03:40	はい。中部電力の森です。ちょっと出資。
2:03:44	方にきちんと答えられるかどうかっていうことがありますけれども例えば
2:03:49	いえ、
2:03:52	ちょっと、
2:03:58	フジイで、
2:04:01	プレート間地震が発生したときに、近くにどういう応力が働くのかっていうことなんですけども、
2:04:08	慎重さが働く、どっち方向に働くのかということで当然ひずみを解消する方向なので陸オオキ方向に働くということです。で、
2:04:19	なので正断層型の地震が起こるということをちょっと単純に書いてありますけども、実際には陸オオキ方向に伸長するような、総力働くのでそれ、そういうような履行期伸長型の
2:04:31	正断層が起こると、全然ひっくり返っている反対を何も言ったようなものは基本的には関係がないとか利益されないとか、促進されない方向かなというふうに思っています。で、
2:04:42	反対に履行期方向に圧縮されているようなものは、どちらかと緩和されるし、全然関係ない方向いてる方は、圧縮も顔もされないということかなと思います。
2:04:53	なので、先ほど
2:04:56	ご確認を受けたようなL字で曲がってる方向で、プレート境界と全然関係ない方を向いている、逆断層についてはどちらかというあんまり促進を促進もちろんされないんですけども、
2:05:08	緩和もされないと、あんまり関係がないというような状況にあるのかなというふうに思います。
2:05:16	おっしゃる通りだと思ったんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:05:20	そうすると、何かこの
2:05:23	一般的に、
2:05:25	今、一般論的な形でここ書かれてるような感じ。
2:05:29	印象を受ける載つけたので、
2:05:33	特に4番については多分分、よくわからないっていう状況ですよ、実際は。
2:05:42	はい。中部電力のもう少し
2:05:45	きちんきちんとというか31ページのところで
2:05:50	書いてないかな。すいません。衛藤。方向の、やはり話が本来はあるので、陸オオキ方向の伸長が促進するのか緩和するのか。
2:06:02	そういう観点での検討が必要かなというふうに思います。
2:06:16	うん。
2:06:17	そうです。
2:06:18	結果は変わらないんですけど、いずれにしろ組み合わせは考慮されるってことなので、ですけど、この
2:06:27	何でしょう、一貫メカニズムの考え方が正しいのかなって思って聞いただけ聞いたところでした。
2:06:34	あと、最後に簡単なハヤマ社さんに今のエザワですよ、だから31ページとかソースなんかどんな方向を向いてる正断層であれ逆断層であれ、一般論としてこうですって言われると、
2:06:45	ちょっとさせてVTオオキによっては、違うんじゃないかなんて言われたことによって逆方向だったら逆に足とかね、影響受けるから、ちょっと一般論としては乱暴な書き方かなっていう。そうですね。はい。もちろんその通り。
2:06:58	はい。という話なのではい。
2:07:01	すいません細かいところで、
2:07:03	えっと、あと33ページ目の、ちょっと確認なんですけども、
2:07:10	図
2:07:11	反射断面の上の図で、右側ですね、2019年探査って書いてるのこれは、
2:07:17	どなたあと1980年探査とかは、これはどなたがやったやつなんですか。
2:07:30	はい。探査の方はですね。はい。33ページの、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:07:34	産業、産業技術産総研の谷津さんのやつは 1981 年ちょっと古くて、ここパツと記憶してないんです。申し訳ないですけど、やっぱり左の方は産総研カナダ平塚 真ん中のやつは、右側の方が東大、
2:07:51	東大の泊さんの関係で新生 0 を使って最近
2:07:57	探査したものになってます。はい、わかりましたありがとうございます。以上です。
2:08:12	規制庁。
2:08:13	規制庁の松江です。
2:08:19	ちょっと、
2:08:20	2829 ページ。
2:08:25	ここはプレート間地震に基本的には応力変化によって誘発された地震。
2:08:36	との重畳を考えるかどうかという議論
2:08:40	という認識でいいですか。
2:08:43	だからここにリストされてるのを、
2:08:48	誘発地震だと。
2:08:50	RISとしましたと。
2:08:53	それは 10 年で切った。
2:08:56	やつを 1 オオイワ 8 人とみなしたということでしょうかこれなんか、ようは津田という、
2:09:04	どっかに文献等があるんでしょうか。
2:09:09	はい。中部電力の森です。こちらの地震がすべてその応力変化で、何かこう余震か誘発地震かで起こったということを主張してるものではなくて、
2:09:20	そういう影響も受け、27 ページの方に少し方針としては、
2:09:25	書きましたけれども 2 ポツ目の方ですね、
2:09:29	当然そういう切り分けはできない、難しいことは承知してますので、そういう影響もだからね。
2:09:37	そういうことが言われているので、こういう検討をしますということをまず、
2:09:41	宣言させなさって、10 年でこういう地震が起きてますと。
2:09:47	この 28 ページ 29 ページはやれてこれを見て、稀だというのはちょっと無理があるんじゃないですか、これだけ起きてると言った方がいいんじゃないですか。
2:10:06	はい。中部電力の森さん方針についてはちょっときちんと記載させていただきます。で、27 ページの方で、稀というふうに書いたのはアノ 03 が

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:10:18	そういうふうに文献として書かれているので記載させていただきました。で、28 ページも、ちょっと表現については検討させていただきますけれども数個程度発生しているというのが事実というふうに考えています。
2:10:32	コウも起こってると。
2:10:34	で誘発と。
2:10:37	うん。
2:10:44	だから怒ってるけども時間がずれてるので津波の重畳の検討対象外にしますでいいんじゃないですか。
2:10:51	という、
2:10:52	コメントです。以上。
2:10:54	多分、規制庁杉井ですけど何か品頻度が多い少ないっていう言い方を してそれって、
2:11:02	そこってと直接話なのかっていうと、多分違うんですよね今。
2:11:06	感覚というかその時間軸の話と、発生頻度って言われると10のマイナス 何乗ですかみたいな、そんな話かっていうと多分違うんじゃないかっ ていう、うんどこですかね。
2:11:17	いや、まれって言われると、分母が効いて、分母の話になってくるので、
2:11:24	分母の話はできないでしょ。
2:11:27	はい。中部電力郷です。ありがとうございますちょ、ちょっと表現として再 度検討させていただきます先ほどの
2:11:35	佐口さんの
2:11:36	コメントにプラスですけども津波が起こったかどうかを一応リストとして加 えてください。
2:11:45	はい。中部電力の盛です。承知しました。
2:12:09	道口です。すいませんもうさっきのコメントでちょっと、大体わかったんで すけどちょっと前のため31 ページで、
2:12:16	右に南海トラフ地震後の海溝軸付近のイメージ図ってあって、
2:12:22	プレート間で地震が起きたと、上盤と下盤の方で伸張場、引っ張り作用 が、
2:12:28	ある。
2:12:29	部分が、
2:12:31	あるということが
2:12:32	いろんな研究でして、わかってるってことだと思うんですけど、ちょっと最 初、右の図見たときに、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:12:38	その近くの伸長作用って書いてあるところに逆断層に、のように見えたので、
2:12:44	あれなんか方向違くないって思ったけどこれはもともと、
2:12:48	南海トラフのところでは、
2:12:51	ある。
2:12:52	逆断層があって、
2:12:55	そのあたりで慎重作用がある。
2:12:57	ということを示しているっていう図でよろしいですか。
2:13:02	はい。中部電力梅津、おっしゃる通りでこちら、南海トラフのイメージ図として記載をしているつもりでございます。
2:13:12	わかりましたありがとうございました。ただやっぱりじゃ南海トラフにおいても、常磐下盤側で、
2:13:18	慎重作用。
2:13:20	は発生している。
2:13:21	というところは、
2:13:23	認識しといておいて、
2:13:25	というご理解、理解でよろしいでしょうか。
2:13:30	はい。中部電力の森プレート間地震自体はひずみを解消する地殻のひずみを解消する、
2:13:38	圧縮された地殻のひずみを解消する現象になりますので、南海トラフにおいても同じように、履行期方向の慎重さが働くというふうに考えています。
2:13:47	はい、わかりましたありがとうございます。
2:14:12	はい、えっと、
2:14:14	よろしいですかねはい。あと少し②の論点というか、その辺のところにも関連する話が少しずつ出てますけど、
2:14:23	一応②の方はもう少し南海トラフ。
2:14:28	固有で、ハラ2 という
2:14:31	もう少し一般論として、蓋然性の話をした上で南海トラフの方では、
2:14:36	売りいい。
2:14:38	発生というか
2:14:40	組み合わせを考えにくいだろうという、
2:14:43	話で一応これ、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:14:46	日本東北沖との比較、もともとプレート間地震のね単独の評価のときにも少し東北東の比較っていうのはやられてはいるんですけど、ここ、先ほどのところだと、荒田
2:14:58	スマトラだったり今もうちょっとアラスカとかアリューシャンデータのあっちの方ですねカムチャツカとか、
2:15:04	いくつか出されていて、
2:15:06	この②の検討のところでは、もちろん、東北と刀禰関係っていうのは、直近すぐ起きてる仕入れ地形もいろいろある話なんで、
2:15:15	比較しない手はもちろんないと思うんですけど、
2:15:19	この段階で当庫 1 南海トラフっていうふうに、
2:15:23	ある程度シマ絞ってというかああいうふうな形で②の、
2:15:28	を検討されてるっていうところはこれは何か理由があるんですけど、
2:15:35	はい。中部電力の盛です。31 ページの方で、
2:15:42	今回この②番の検討の取っかかりとして、引いている城 2019 で、
2:15:51	数字たクラックモデルを用いた数値解析で、プレート間地震が起こると、海溝軸付近のババ下盤ともに伸張作用が働くと
2:15:59	で、実際に、2011 年投稿記事でも、そういうように正断層型の地震が家族観測されているというような文献として、引いております。で、まずその事実関係というのをきちんと押さえるという意味では東北大きなところ、検討としています。で、
2:16:15	地殻的背景という意味では、やはり南海トラフのところに着目する必要があるのそのあとに、確認の上で南海トラフをきちんと調べているというたてつけにしています。
2:16:28	何で投光器ではねこういうものがあってというのは当然承知していて、
2:16:34	何とか
2:16:35	南海トラフ。
2:16:37	この二つⅡの比較はされているんですけど、
2:16:41	その辺の後の説明って何か南海トラフだけが特別っていう話でもなければ、
2:16:46	遠くを逆に投光器だけが何か特別にこういうのが起きてるっていうわけではなく、ですよ。
2:16:52	何かその辺りが、他のプレート間、
2:16:55	とかもひっくるめて、
2:16:58	どういうイメージで捉えればいいのかないところがあるんですけど。
2:17:05	いや、何でほかにもプレート間っていっぱいあるわけで、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:17:13	別に今すぐ検討を出してくれと言ってもらえないんですけど、
2:17:18	ちょっとまた何かたまたま比較しやすいものがポツと手元にあったので比較しましたじゃないと思うので、
2:17:24	どうなんですかね。
2:17:28	何か一応プレート内とか、横ずれ系のプレート内もあたりはするんで、
2:17:38	はい。中部電力の盛です。ちょっと先ほど、議論、
2:17:43	ヤマシタさんと議論させていただいたようなところをきちんと書く必要があるのかなと思っています衛藤。
2:17:49	32 ページの例えば止んば 6 なんかは横ずれではあるんですけども、衛藤。
2:17:57	上側で、3 行目ぐらいに書いたような、やっぱり履行期方向の伸長作用が働きますので、それで引っ張られて、断層自体は決まっているので、横ずれで動いたということなのかなというふうには理解をしています。黒川の履行期方向にあるので、
2:18:13	ユキ方向側に引っ張られた地震だというふうに思っています。
2:18:16	ちょっとそのあたりをきちんと整理した上で、そうですね。ちょっと先ほど鷺さんがおっしゃられたようなスマートなの事例だとかを出すことがちょっと、
2:18:27	なかなか 33 ページ並みにちょっとどういう断層がもともとあってみたいところがちょっと難しいと思いますけれども、何か出せるものがあるかということは検討させていただきたいと思います。
2:18:42	はい。ひとまずね、情報として整っている自社サイトの南海トラフと、遠くオオキ
2:18:51	この比較自体は普通にあり、この論旨であればあり得る話なんで、
2:18:58	ちょっと時間もあるかな。
2:19:02	前回の会合のときに出た、
2:19:06	名前をどういうものがイイダ 33 ページの右下。
2:19:10	前回確かさあ 2011 年前、あと
2:19:16	何か切り分けてるんですかまざってるんですかっていうのは、多分、石渡委員の方からも、コメントあったかと思うんですけど。
2:19:23	ちょっとそこを前回からどういうふうに直されたのかだけ解説いただいていいですか。
2:19:29	はい。中部電力の盛です。今回は、2011 年以後のデータも入っていたものということで

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:19:37	35 ページに、南海トラフはそのまま、一番右側の方に区レイグ 2014 によって残しておりますけれども、こちらとの、
2:19:47	日本海溝のものを載せておりました。で、ちょっとデータ上どれが前後かということまでは取りきれないので、33 ページの方はちょっと文献を、
2:19:59	2011 年より前のもののデータを使ってる分ちょっと置き換えておまして、地震前はこういうものが起こっているというのをお示したのになります。で、
2:20:09	前回と同様に、浅い方で正断層型、深い方で逆断層型の地震というのが変わらず起こっているということを確認しており
2:20:19	あれ、ああそうか、前は 35 ページのくれぐれて表記しようとしてただけど、
2:20:30	9 レイグ。
2:20:32	これ、
2:20:33	水の読み方が、
2:20:36	フリー。
2:20:38	フリー。
2:20:39	はい。
2:20:41	あれ、前はこれ 35 ページ右側の図で、
2:20:45	あれ南海トラフだけじゃなくて他のとか他のも、
2:20:49	日本海溝も入っ。
2:20:52	て言ってそれを、
2:20:54	311 前後で切り分けられないのか切り分けられますかねと言ってただけど結局そこは、
2:21:00	はっきりと
2:21:01	文献たどったら難しそうだったってことですかね。
2:21:09	で、
2:21:10	なので、
2:21:12	そこは 33 ページ。
2:21:14	かな、これわあ、
2:21:21	これは、これは負荷深い領域が逆断層だったら細粒化正断層の地震が発生、まあまあ当たり前っちゃ当たり前
2:21:29	はい。
2:21:31	一般的なもの。
2:21:34	あんまり
2:21:36	311 前後というか、で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:21:40	この関連 9090。
2:21:42	0
2:21:44	切り分けれるようなものはちょっと、
2:21:46	示せないっちゃうことでいいですかねこ。
2:21:50	はい。中部電力の盛です。切りは、
2:21:54	図自体をちょっと加工することが、は難しいので、データとして、地震前にどういう地震が起こっていたのかというのを、ちょっと前回と構成を変えてる関係上で、1 ページにはいないですけども、
2:22:06	掲載させていただきました。
2:22:08	で、32 ページの方では、地震後にじゃあどういう地震が発生してるのかっていうのを掲載してますので、浅いところで正断層型地震が起こっていて、定常状態でも起こっていて地震後も、
2:22:21	正断層が起こっているというのがわかるようにしており、
2:22:41	はい。
2:22:50	現象ちょっと途中で山本さんの方からもあるけど、あまり一般論とか、どの方向を向いていても正断層逆断層で一般化しているわけでは、
2:23:00	31 ページの説明はそういうわけではなさそうなので、
2:23:05	もしあれですかね、浜岡サイトの分岐断層ですよね 35 ページに、さっき言った 4 番みたいなのは、
2:23:12	けど、実際自社のところで、
2:23:15	ある、銭洲断層もそういう意味でいうと、
2:23:19	向きの的に言っても、
2:23:21	誘発というか、促進という言い方さんかな。
2:23:26	促進か緩和される方向に当たるっちゃうことですかねずに、
2:23:31	その辺はもう少し正確に説明されればよろしいかなとは思いますが。
2:23:39	はい。
2:23:40	してもよりサイトの視覚的背景からするとより、
2:23:45	いわゆる
2:23:47	プレート間リーシングの補ユフ県下で送るような、大地震というのはより、
2:23:53	起こりにくいってもともとそういうようなものの痕跡みたいなものが少なそうだというのは、そういう御説明ですかね。はい。
2:24:01	前回あった、もう少し国の機関での取り扱いのような話は最後どこに。
2:24:10	行ったかというと、
2:24:13	ちょっと待ってくださいね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:24:17	最後その話はどこに行ったんでしたっけ。
2:24:19	あまりちょっとそれだけに、主たる根拠ってのはなかなか難しからうという話は前回の会合ではもちろんあったんですけど、
2:24:27	それは今どこに行ったかというところとちょっと教えてもらっていいか。
2:24:30	最後、はい。今、4、10 ページの方で
2:24:37	破壊が伝播するような連動の整理をしております。で、
2:24:43	箱書きの3ポツ目のところで、なおということで、
2:24:49	段階と内閣府のところ記載を
2:24:53	整合的であるということで記載しています。内閣府自体は別地震としていてまで一体性があるような、いわゆる分岐断層みたいな連動を想定していないという趣旨で記載しているというふうに、
2:25:05	認識してますので、
2:25:07	ここの(2)の方の破壊伝播という観点のところでは整合性が整合的であるということを記載しております。
2:25:21	すいませんこれあれですか、連動の方の下、(1)(2)宇都(2)。
2:25:28	の方の説明として、
2:25:33	内閣府 2012 は使っ
2:25:36	ている。
2:25:39	41 ページ見ると何かこう(1)(2)全体に対して言ってるのか。
2:25:45	どっちなんですかねえ。
2:25:50	(2)に対してその整合的であるっていう話をしてるのか、(1)(2)全体ひっくるめて、
2:25:57	内閣府 2012 の話をして、想定されていないって話をしているのか。
2:26:02	これどっちでしたっけ。
2:26:06	はい。中部電力の丸です。
2:26:10	41 ページもちょっと置く場所が悪い。
2:26:13	とは思いますが。衛藤。
2:26:15	(2)の方の、
2:26:18	破壊伝播による連動というのを想定するのかもしれないのかというところで、内閣の方を引きたいと思います。内閣も別地震とCということなので、別地震としては発生する可能性は当然あるというはずみたいなことも、
2:26:32	否定してるわけではないので、そちらではなくて(2)の方で引きたいと思います。
2:26:39	わかりました。なんで、連動タイプというか破壊伝播の話。
2:26:45	その中で扱ってませんよって話で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:26:49	そもそも誘発みたいなどころまで含めたところでは、多分、何も、そもそも参照できるような記載が全くないので、
2:26:57	どう考えているのかっていうのももちろん、
2:26:59	書いてるわけじゃないということで、はい。置き場所としてはそうですね。はい。
2:27:04	する等、(2)の中で御社の
2:27:09	宇和版でこう考えて下盤でこういう考えをされていてってところと整合している。
2:27:14	はい。
2:27:15	ちょっと41ページだと何か、全体ひっくるめて、農家どちらのかがよくわからなくなってしまったんで、はい。
2:27:21	趣旨、どういう趣旨で置こうとしてるのかはわかりました。
2:27:27	ちょっと今日、少し資料の中で今日の段階で充実化されている部分もあったので、
2:27:34	ちょっと全部お聞きしれてるかはあれですけど、ちょっとそろそろ、
2:27:39	後藤理事、
2:27:41	終わろうかと思えますけど、いかがですか他に。
2:27:44	確認をしておきたい。
2:27:47	よろしいですかね。
2:27:49	次は、
2:28:12	じゃあよろしいですかね。
2:28:15	もし何ですかね、①の間って(1)①の観点だったかな少し基礎情報というか何か新しい多分文献をとかデータをとってことではないと思うんですけど。
2:28:25	少し基礎情報みたいなものを書き出させていただくとか、少し、
2:28:29	プレート管理シンボの別の大地震の話と連動の話と、もう少しちょっと切り分けというか、考え方の違い明確になるような、
2:28:39	修正目はいただくとして、あとは、海域活断層の方も大きな、
2:28:46	修正ではないかと思えますけど、このまま、もう一度お話は伺おうかなと思ってます。
2:28:53	また資料の方ですね、修正できましたら、ヒアリングを申し込んでいただいてヒアリングということで2回目やろうかと思ってますので、
2:29:01	特に中部電力の方から何かなければ終了しますけど、よろしいですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:29:06	はい。ありがとうございました。今日いろいろご確認いただきました部分、しっかり、再度整理して、資料か、迅速にまとめて、改めてヒアリングの方申し込みたいと思います。
2:29:22	はい、では、以上で終了したいと思いますお疲れ様でした。
2:29:27	ました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。